

栃木県の新しい総合計画に関する市町村長意向調査

報告書(概要版)

平成21年8月

栃 木 県

○目次
1 調査の概要
2 これからの望ましい「とちぎ」の姿
3 今後の行政運営の重点項目
4 “とちぎ”の現状評価と、今後の行政の取組のあり方等
5 市町村の重点推進項目
6 市町村の特色ある地域づくり
7 経年変化
8 県の新しい総合計画に対する意見・要望

第1章 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、「新しい総合計画」策定にあたり、県内の市町村長の意向を調査し、計画に反映させることを目的に実施したものである。

2 調査項目

- 問1 これからの望ましい「とちぎ」の姿
- 問2 今後の行政運営の重点項目
- 問3 “とちぎ”の現状評価と、今後の行政の取組のあり方等
- 問4 市町村の重点推進項目
- 問5 市町村の特色ある地域づくり
- 問6 県の新しい総合計画に対する意見・要望

なお、問1と問3は、本年2月に実施した県民意向調査（5,000人対象）と同じ項目である。

3 調査の実施方法

この調査は、県内全市町村長あて、本年6月に郵送により実施したものである。

集計上の区分

地域	地域区分	対象数	市	町	村
県北地域	1	10	大田原市、那須塩原市、那須町、日光市、矢板市、さくら市、塩谷町、高根沢町、那須烏山市、那珂川町		
県央地域	2	9	宇都宮市、上三川町、壬生町、鹿沼市、真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町		
県南地域	3	11	小山市、下野市、野木町、栃木市、大平町、藤岡町、岩舟町、都賀町、西方町、足利市、佐野市		
〔市・町村別構成〕			〔地域別構成〕		
市	14(46.7%)		県北地域	10(33.3%)	
町村	16(53.3%)		県央地域	9(30.0%)	
			県南地域	11(36.7%)	

第2章 意向調査の結果

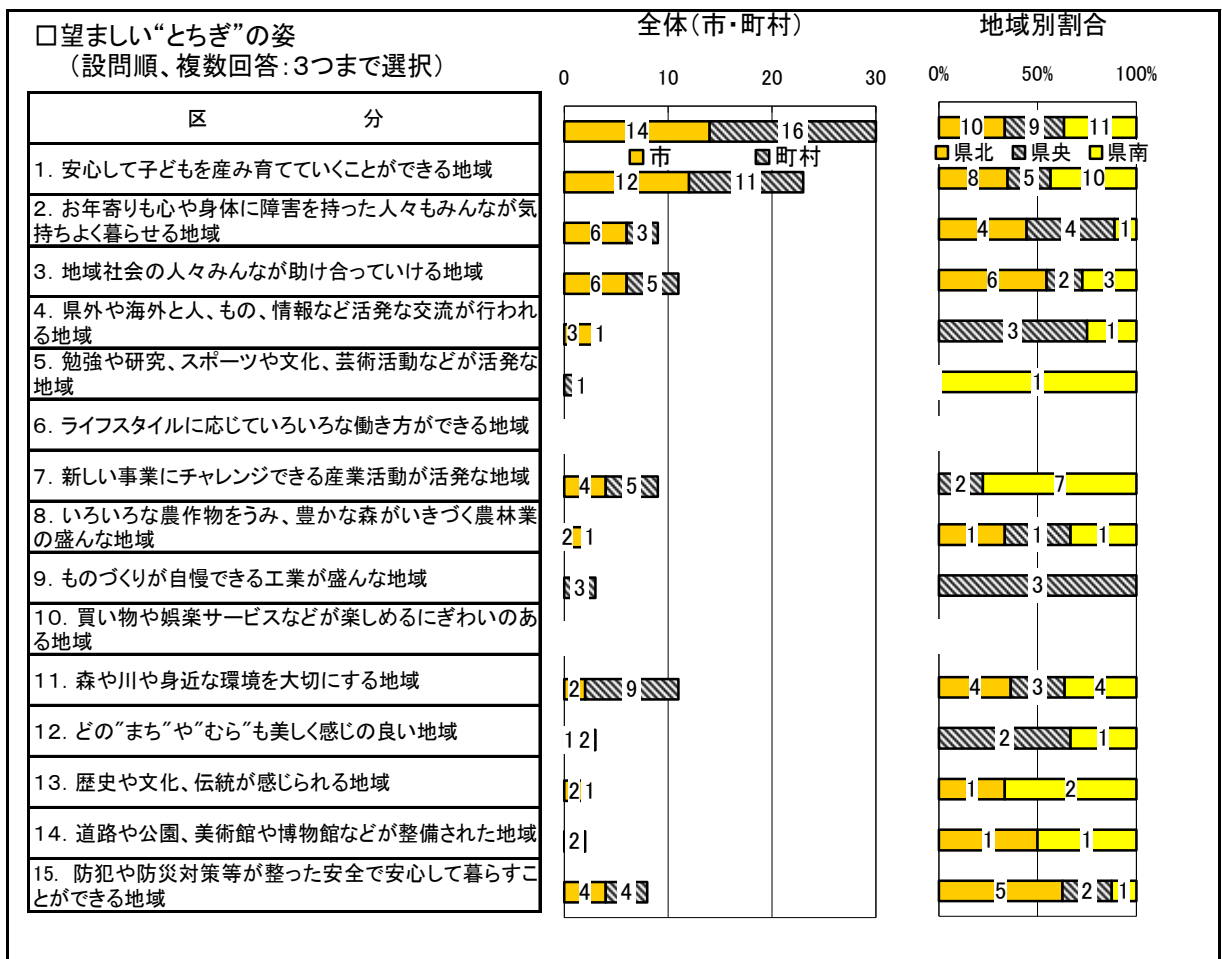
1 これからの望ましい「とちぎ」の姿

市町村長が考える「とちぎ」の将来イメージを把握したものである。

全体では「1 安心して子どもを産み育てていくことができる地域」(回答数 23、76.7%) が最も多く、他を大きく上回っている。次いで、「3 地域社会の人々みんなが助け合っている地域」と「11 森や川や身近な環境を大切にする地域」(同 11、36.7%)、「2 お年寄りも心や身体に障害を持った人々もみんなが気持ちよく暮らせる地域」と「7 新しい事業にチャレンジできる産業活動が活発な地域」(同 9、30%) の順で続く。

市・町村別に見てみると、市では1(子育て環境)、2(福祉)、3(助け合い社会)が多く、町村では1(子育て環境)、11(自然環境)、3(助け合い社会)、7(産業)が多い。

地域別に見ると、全体で多く選択された1(子育て環境)、11(自然環境)はほぼ同じ割合であった。特徴的なものは、県北では3(助け合い社会)や15(防犯・防災)が多く、7(産業)を選択した市町はなかった。県央では4(交流)、9(工業)が他地区に比べ比較的多く、県南では7(産業)が多かった。なお、今回は6(多様な働き方)、10(買い物)を選択した市町はなかった。



○大切にしたい“とちぎの姿”の自由回答（意見を要約）

- ・北関東地方のコネクターとなる広域自治体として連携をリードする地域
- ・地域の持つ個性・独自性、資源を活かし、メリハリのある施策が展開されている地域
- ・地域の活力の原動力となっている商工農林業がバランスよく持続的に発展している地域
- ・自らの判断と自らの責任で自ら地域で安全で安心して住むことができ、しかも子供たちが将来にわたりそこに住んでいたいと思うような自立のできる魅力的な地域
- ・豊かな自然を守り、育てる地域
- ・子育て環境を整え、「とちぎの子」は栃木県みんなで守っていく地域
- ・独自の歴史や文化・伝統を尊重するまちやむらが大切にされる地域

2 今後の行政運営の重点項目

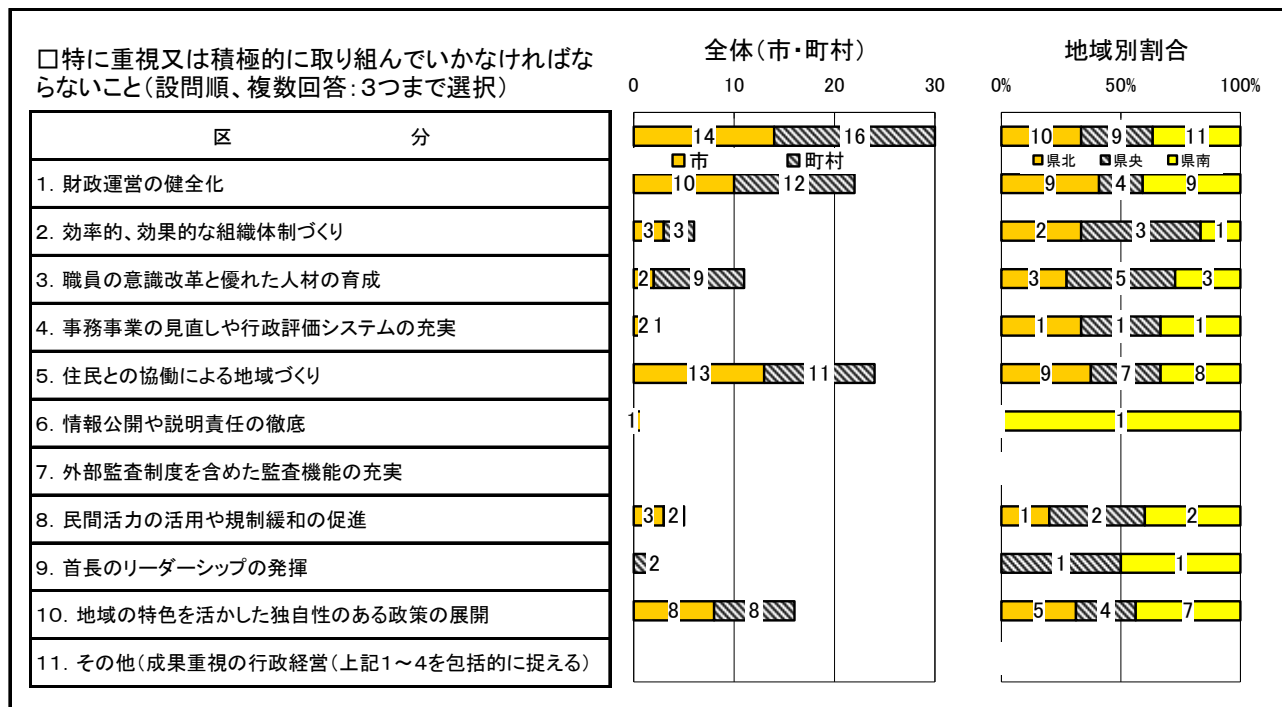
(1)特に重視又は積極的に取り組むべき事項

これからの地方自治体にふさわしい行政運営を確立する上で特に重視又は積極的に取り組むべきものについての考えを把握したものである。

全体では「5 住民との協働による地域づくり」（回答数 24、80%）が最も多く、次いで「1 財政運営の健全化」（同 22、73.3%）となっており、この2項目が他を大きく上回っていた。3位は「10 地域の特色を活かした独自性のある政策の展開」（同 16、53.3%）であった。

市・町村別に見てみると、市は全体と同じ傾向であるが、町村では、1（財政）、5（協働）に次いで「3 職員の意識改革と優れた人材の育成」が多くなっている。

地域別では、県央で、他地区に比べ3（人材）が多く、1（財政）が少ない傾向にあった。



○行政運営のあり方に関する自由回答（意見を要約）

- ・ 国・広域自治体・基礎自治体の適切な役割分担・配分による効果的で効率的な行政運営
- ・ 市民の願いを反映した質の高い地域社会を構築
- ・ 市民自らが行政の主人公として公共政策の選択に的確な自己判断が下せるように啓発
- ・ 徹底した行財政改革や行政評価の推進
- ・ 市民や企業等との「役割分担」「協働」「連携」による行政運営
- ・ 事務権限や税財源の地方移譲を積極的に推進し、自由度の高い自立的な行政経営の実現
- ・ 市町重視の行政運営
- ・ 組織のスリム化、職員能力の開発
- ・ 将来のまちづくりを展望した都市基盤の整備
- ・ 行財政運営の効率化と地域特性を活かした取組

(2) 行政と住民・企業・NPO等との関係、今後の県と市町村との役割分担について

○行政と住民・企業・NPO等との関係についての現状に対する評価と今後のあるべき姿

地方分権改革の進展や行財政運営の健全化、住民ニーズの多様化などを背景に、住民やNPO等との協働による地域づくりが不可欠とされ、情報提供、住民参画の場の提供、組織づくりへの支援を進めており、一定の成果が現れてきているとした市町村もあるが、まだ、今後さらに住民が主体的に行動できるようなシステムづくりを行い、協働による地域づくりを推進していく必要があるとしている。

(主な意見を記載)

『現状』

- ・ 住民・企業・NPO等は「公」の担い手の一人としてその役割を高めている
- ・ 市条例の理念に基づき、市と対等な関係の下に「協働」を進めている団体も増えつつあるがまだ啓発段階
- ・ 自らが参画するという意思を持った住民が増えており、NPOからの行政への共催事業の提案も増加
- ・ 県、町が推進する施策に合致する活動を展開する法人に対しては、必要最低限の支援はやむを得ない
- ・ 行政と住民との対等の立場での連携は、これから最も重要となる
- ・ 協働については、行政も住民・企業・NPOもお互いに、まだ認識や情報の収集・提供が不足している
- ・ NPOやボランティア団体においては、人材の確保や資金力を強化しなければならない
- ・ 行政改革から“行政創造”にむけて「協働」をキーワードに掲げている。「協働」を、まちづくりの取り組みに不可欠なものとして、自助・共助・公助を基本としながら、個人・地域・行政がそれぞれの責任と役割を認識し、相互に補完しあいながら進めていくことを提案している

『今後のあるべき姿』

- ・ 依存型ではなくお互いに自立した関係のなかで、自分たちの住むまちを良くするにはそれぞれが何をすべきかということを常に考えながら、同じ目的に向かって協働
- ・ それぞれの役割を十分認識し、発揮すると同時に、相互の連携し、補完しあえるシステムづくりが必要
- ・ それぞれが、“強み”や“責任”を踏まえて行動し、信頼関係に基づき、相乗効果を発揮しながらまちづくりを行っていくことが望まれる

- ・ 行政、住民、企業、NPO等の数多くの主体が公共サービスを提供することで、多様化する地域ニーズに対応可能となる
- ・ 計画段階からの市民参画を図り、協働のまちづくりに向けた仕組みづくりが求められる
- ・ 指定管理者制度や市場化テストなど民間活力を積極的に運用し、民間との協働、役割分担を明確化
- ・ 積極的な情報公開、対話と議論など、政策形成過程に住民が積極的に参画できる仕組みづくりが大切
- ・ 住民等が行政に様々なことを「要求」し、行政がこれに「応える」ことは当然である。しかし、要求の「量」と「質」は無限大であり得ず、どこかで線が引かれなければならない。
- ・ 住民がまちづくりを「協働」していると実感できる仕組みづくりの提案と実践が課題
- ・ 産・官・学・民の4つのセクターによる施策立案や運営は今後ますます重要度を増す
- ・ 行政を取り巻く課題等について、地域住民自らの知恵や技術、経験、行動力を活かし、解決に向けて取り組むといった行政と住民・企業・団体等の協働によるまちづくりを推進

○今後の県と市町村との役割分担

地方分権改革の進展に伴い、市町村が住民に最も身近な基礎自治体として、独自性や地域性を活かした行政運営を行い、県は広域的な課題への対応・市町村間調整のための役割があるとしている意見が多い。その際は、地域の実情を勘案した上で、権限、財源、人員など総合的な再配分が必要としている。

(主な意見を記載)

『県の役割に関する意見』

- ・ 県は基本的には広域的事務を担いながらも、広域の見地、専門の見地などから、市町を支援・補完するとともに、地域を総合的に牽引していく役割
- ・ 「補完性・近接性の原理」に基づいて、将来にわたる役割分担を明確にしていく必要がある
- ・ 住民本位の視点に立った対等な関係での役割分担が必要
- ・ 県は市町を指導・支援しながら間接的に住民と関わるという役割が求められる
- ・ 市町でやれることはやる。やれないことは、広域連携や共同処理の仕組みを活用してやる。それも無理なところは県が補完する
- ・ 市町村全体を見られる県の存在意義を示して欲しい
- ・ 小さな自治体こそ大事にして行政運営を暖かくサポートする役割がある
- ・ 先ずは市町村が基礎自治体として前線で頑張り、県は後方にあって前線への指導・調達、前線部隊全体の利害調整等に力を貸す関係であって欲しい
- ・ 市町村の自立を支援し、広域的な調整を図っていくことが可能な体制と仕組みを築いていく必要がある
- ・ 小規模な市町村においては、特に職員の専門性が育ちにくいこともあり、今後も指導的役割を發揮していただきたい。なお将来的には、役割の再構築が必要

『連携に関する意見』

- ・ 県と市町村のより一層の連携強化及び、各々の責務の明確化を推進
- ・ 「分担」も必要だが、「連携」はもっと必要
- ・ 役割分担を見直しながら、「人・もの・金・情報」の交流・連携を強化することで、「県民や市民が主体」の行政執行に努めていく必要がある
- ・ 広域自治体のあるべき姿について、県と市町の連携の下議論を進めることが必要

『権限等移譲に関する意見』

- ・ 権限移譲までの意見集約、国への橋渡しをして欲しい
- ・ まちづくりに必要な裁量を基礎自治体に移譲し、それに見合った財源が移譲されるべき
- ・ 「事務」「権限」「財源」の再配置を一体的に進めることが必要
- ・ 人員減の中、権限移譲により事務量が増加。公共とは何か、地域サービスとは何か考えるべき
- ・ 必要な財源はきちんと担保し、人的配置もされることが極めて重要

3 “とちぎ”の現状についての評価と、今後の行政の取組のあり方など

(1) “とちぎ”の現状についての評価

行政の取組だけでなく民間等の活動も含めて、市町村長が、“とちぎ”の現状をどう評価しているかを把握するため、「とちぎ元気プラン」の施策体系に基づく50の項目を、次の区分により選択してもらった。

【現状評価の程度】

5 充実している	4 わりと充実している	3 どちらともいえない
2 やや不十分である	1 不十分である	

50項目の現状評価結果はP7（満足度の高い順）、P8（不満度の高い順）のとおりである。

また、各項目ごとに、「充実している」「わりと充実している」と回答した市町村の割合の合計を『満足度』、「やや不十分である」「不十分である」と回答した市町村長の割合の合計を『不満度』として示した。

なお、市・町村別、地域別区分は、それぞれ『満足（不満）度』の高い項目についての第5順位までを後掲の「参考表」において整理した。

① 全体の特徴

『満足度』の高い項目は、

- ・ 「27 安全で安定した水の供給」（回答数 21、70%）
- ・ 「30 体系的な道路網の整備」（同 15、50%）

一方、『不満度』の高い項目は、

- ・ 「17 安心して良質な医療の確保」（回答数 20、66.7%）
- ・ 「43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進」（同 19、63.3%）
- ・ 「24 地域に根ざした産業の振興」（同 18、60%）
- ・ 「22 活力ある林業・木材産業の振興」「42 廃棄物処理対策の推進」（同 16、53.3%）

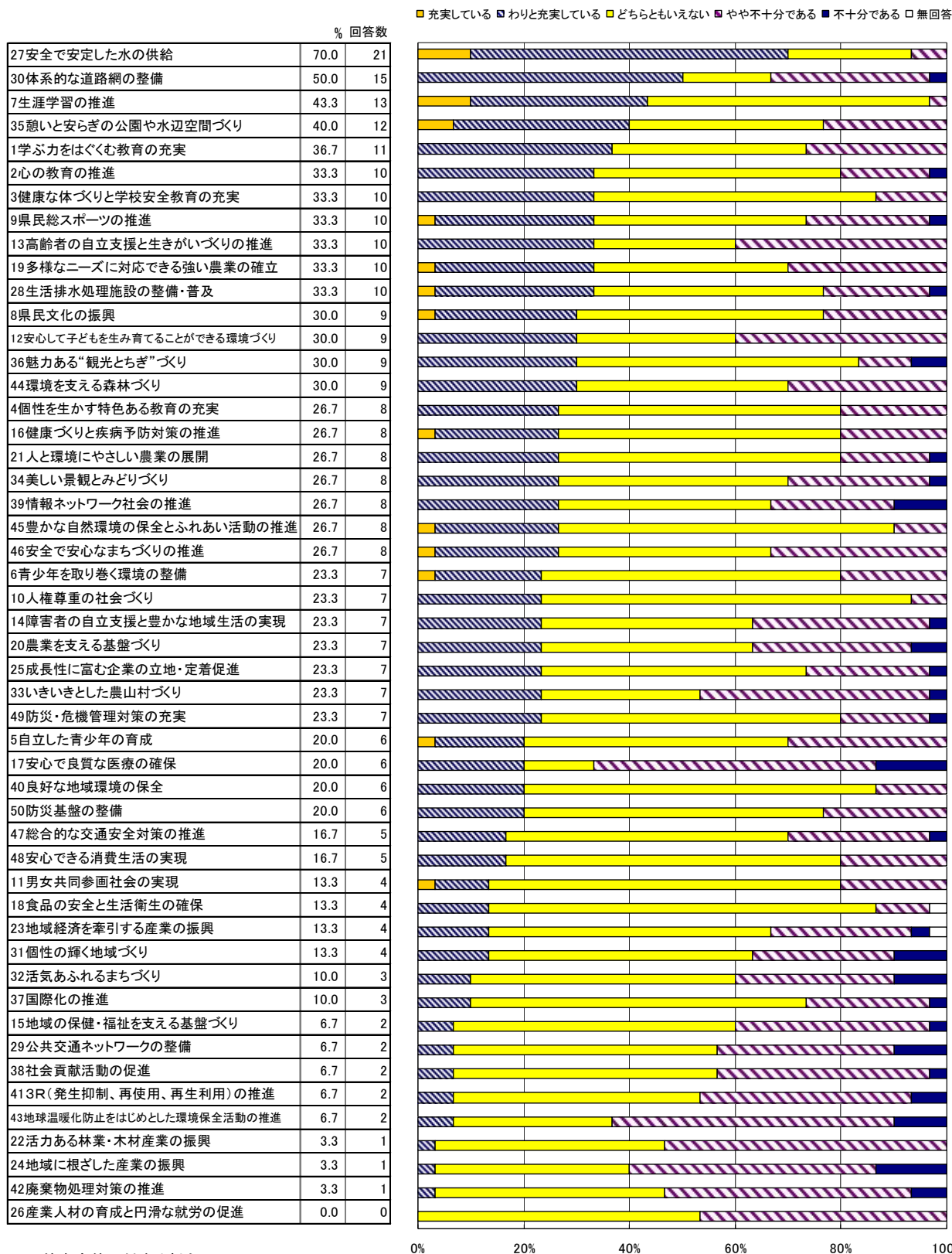
② 属性別の特徴

市・町村別でも『満足度』の高い項目は全体と同様であるが、市・町村間の差が大きい項目は市では「9 県民総スポーツの推進」や「19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立」の満足度が高いが、町村では低い。逆に「2 心の教育の推進」、「3 健康な体づくりと学校安全教育の充実」は町村での満足度が高い。

地域別でも『満足度』の高い分野は全体と同様であるが、県北では「5 自立した青少年の育成」、県央では「35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり」「36 魅力ある“観光とちぎ”づくり」、県南では「28 生活排水処理施設の整備・普及」の『満足度』が高かった。

問3 “とちぎ”の現状についての評価と、これからの取組の必要性などについておたずねします。

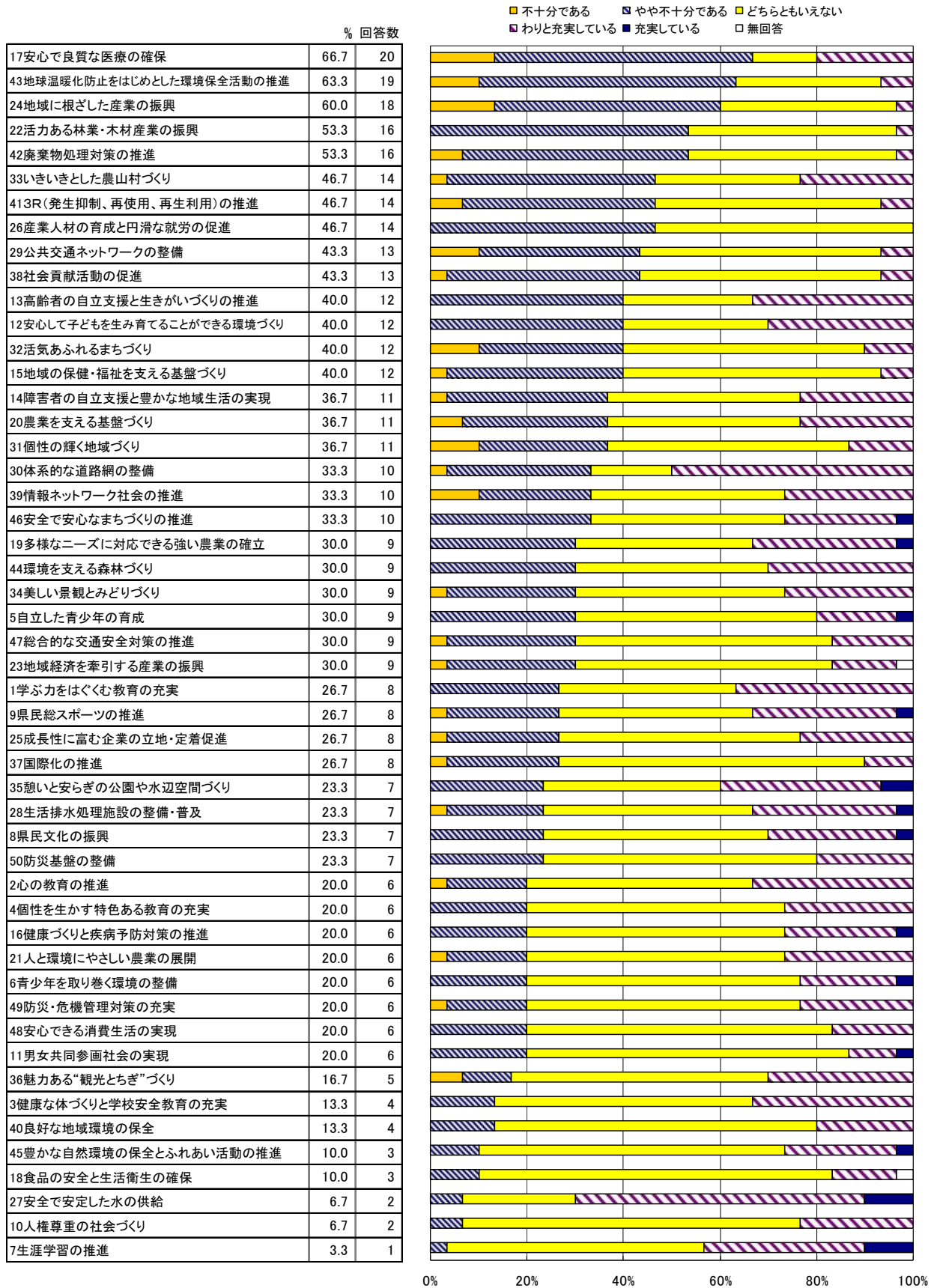
□“とちぎ”の現状についての評価(1) (「充実している」及び「わりと充実している」を回答した割合順) (全体)



※回答者全体に対する割合

問3 “とちぎ”の現状についての評価と、これからの取組の必要性などについておたずねします。

□“とちぎ”の現状についての評価(2) (「不十分である」及び「やや不十分である」を回答した割合順) (全体)



※回答者全体に対する割合

(2) 今後の行政の取組のあり方

今後の行政の取組のあり方に対する、市町村長の認識を把握するため、50項目ごとに次の区分により選択してもらった。

【行政の取組のあり方の程度】

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 4 特に重点的に取組む | 3 現状以上に取組む | 2 現状程度に取組む |
| 1 現状以下でよい | | |

50項目の取組のあり方の評価結果はp10のとおりである。

また、「特に重点的に取組む」「現状以上に取組む」と回答した市町村長の割合の合計を『重要度』として示した。

なお、市・町村別、地域別区分は、それぞれ『重要度』の高い項目・低い項目についての第5順位までの分野の『重要度』を後掲の「参考表」において整理した。

① 全体の特徴

『重要度』の高い項目は、

- ・「1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実」、「12 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」、「41 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進」（回答数 29、96.7%）
- ・「17 安心して良質な医療の確保」、「42 廃棄物処理対策の推進」、「43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進」（同 28、93.3%）

一方、『重要度』の低い項目は、

- ・「45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進」（回答数 10、33.3%）
- ・「7 生涯学習の推進」、「27 安全で安定した水の供給」（同 11、36.7%）
- ・「10 人権尊重の社会づくり」（同 12、40%）
- ・「8 県民文化の振興」、「37 国際化の推進」（同 13、43.3%）

② 属性別の特徴

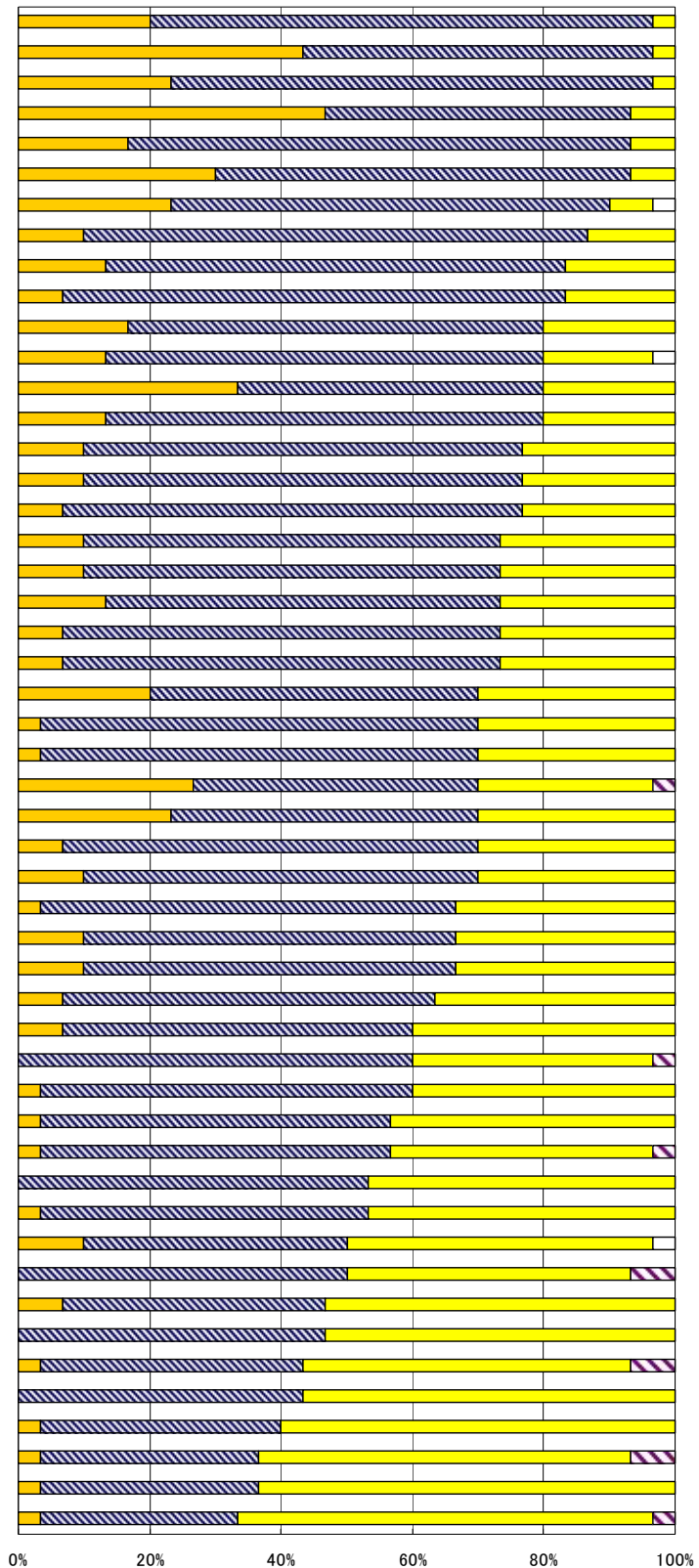
市・町村別では、重要度の高い項目は全体及び市・町村間で差は見られなかった。

地域別では県北で「33 いきいきとした農山村づくり」、「39 情報ネットワーク社会の推進」、「49 防災・危機管理対策の充実」を全員が選択しており、県央・県南に比べ高くなっているのが特徴的であった。また、県央では、「13 高齢者の自立支援と生きがいの推進」、「14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現」が高くなっていた。

□今後の行政の必要性(「特に重点的に取組む」及び「現状以上に取組む」を回答した割合順)(全体)

	% 回答数	回数
1学ぶ力をはぐくむ教育の充実	96.7	29
12安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	96.7	29
413R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	96.7	29
17安心して良質な医療の確保	93.3	28
42廃棄物処理対策の推進	93.3	28
43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	93.3	28
24地域に根ざした産業の振興	90.0	27
15地域の保健・福祉を支える基盤づくり	86.7	26
2心の教育の推進	83.3	25
19多様なニーズに対応できる強い農業の確立	83.3	25
13高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	80.0	24
23地域経済を牽引する産業の振興	80.0	24
25成長性に富む企業の立地・定着促進	80.0	24
33いきいきとした農山村づくり	80.0	24
3健康な体づくりと学校安全教育の充実	76.7	23
31個性の輝く地域づくり	76.7	23
46安全で安心なまちづくりの推進	76.7	23
14障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	73.3	22
29公共交通ネットワークの整備	73.3	22
32活気あふれるまちづくり	73.3	22
38社会貢献活動の促進	73.3	22
48安心できる消費生活の実現	73.3	22
20農業を支える基盤づくり	70.0	21
21人と環境にやさしい農業の展開	70.0	21
34美しい景観とみどりづくり	70.0	21
36魅力ある“観光とちぎ”づくり	70.0	21
39情報ネットワーク社会の推進	70.0	21
47総合的な交通安全対策の推進	70.0	21
49防災・危機管理対策の充実	70.0	21
5自立した青少年の育成	66.7	20
16健康づくりと疾病予防対策の推進	66.7	20
26産業人材の育成と円滑な就労の促進	66.7	20
6青少年を取り巻く環境の整備	63.3	19
4個性を生かす特色ある教育の充実	60.0	18
9県民総スポーツの推進	60.0	18
28生活排水処理施設の整備・普及	60.0	18
22活力ある林業・木材産業の振興	56.7	17
50防災基盤の整備	56.7	17
11男女共同参画社会の実現	53.3	16
40良好な地域環境の保全	53.3	16
18食品の安全と生活衛生の確保	50.0	15
35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	50.0	15
30体系的な道路網の整備	46.7	14
44環境を支える森林づくり	46.7	14
8県民文化の振興	43.3	13
37国際化の推進	43.3	13
10人権尊重の社会づくり	40.0	12
7生涯学習の推進	36.7	11
27安全で安定した水の供給	36.7	11
45豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	33.3	10

■ 特に重点的に取組む ■ 現状以上に取組む ■ 現状程度に取組む ■ 現状以下でよい □ 無回答



※回答者全体に対する割合

〔参考表1〕

問3のそれぞれの設問ごとに、現状評価（『不満足度』）が高い分野、行政の取組の必要性（『重要度』）が高い分野について、属性別に見ると次のとおりとなる。

区分	順位	問3(2)行政の取組の必要性(重要度:高い)			順位	問3(1)現状評価(不満足度:高い)		
		項目	回答数(件)	割合(%)		項目	回答数(件)	割合(%)
全体	1	1学ぶ力をはぐくむ教育の充実	29	96.7	1	17安心で良質な医療の確保	20	66.7
	1	12安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	29	96.7	2	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	19	63.3
	1	413R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	29	96.7	3	24地域に根ざした産業の振興	18	60.0
	4	17安心で良質な医療の確保	28	93.3	4	22活力ある林業・木材産業の振興	16	53.3
	4	42廃棄物処理対策の推進	28	93.3	4	42廃棄物処理対策の推進	16	53.3
	4	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	28	93.3	6	26産業人材の育成と円滑な就労の促進	14	46.7
	7	24地域に根ざした産業の振興	27	90.0	6	33いきいきとした農山村づくり	14	46.7
	8	15地域の保健・福祉を支える基盤づくり	26	86.7	6	413R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	14	46.7
	9	2心の教育の推進	25	83.3	9	29公共交通ネットワークの整備	13	43.3
9	19多様なニーズに対応できる強い農業の確立	25	83.3	9	38社会貢献活動の促進	13	43.3	
市	1	12安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	14	100	1	17安心で良質な医療の確保	9	64.3
	1	17安心で良質な医療の確保	14	100	1	26産業人材の育成と円滑な就労の促進	9	64.3
	3	1学ぶ力をはぐくむ教育の充実	13	92.9	3	24地域に根ざした産業の振興	8	57.1
	3	23地域経済を牽引する産業の振興	13	92.9	3	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	8	57.1
	3	24地域に根ざした産業の振興	13	92.9	5	22活力ある林業・木材産業の振興	7	50.0
	3	413R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	13	92.9	5	33いきいきとした農山村づくり	7	50.0
	3	42廃棄物処理対策の推進	13	92.9	5	38社会貢献活動の促進	7	50.0
	3	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	13	92.9	5	42廃棄物処理対策の推進	7	50.0
	3	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	13	92.9	5	42廃棄物処理対策の推進	7	50.0
町村	1	1学ぶ力をはぐくむ教育の充実	16	100	1	17安心で良質な医療の確保	11	68.8
	1	413R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	16	100	1	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	11	68.8
	3	12安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	15	93.8	3	24地域に根ざした産業の振興	10	62.5
	3	15地域の保健・福祉を支える基盤づくり	15	93.8	4	22活力ある林業・木材産業の振興	9	56.3
	3	42廃棄物処理対策の推進	15	93.8	4	42廃棄物処理対策の推進	9	56.3
	3	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	15	93.8				
県北	1	1学ぶ力をはぐくむ教育の充実	10	100	1	17安心で良質な医療の確保	7	70.0
	1	12安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	10	100	1	22活力ある林業・木材産業の振興	7	70.0
	1	15地域の保健・福祉を支える基盤づくり	10	100	1	26産業人材の育成と円滑な就労の促進	7	70.0
	1	17安心で良質な医療の確保	10	100	4	12安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	6	60.0
	1	33いきいきとした農山村づくり	10	100	4	24地域に根ざした産業の振興	6	60.0
	1	39情報ネットワーク社会の推進	10	100	4	39情報ネットワーク社会の推進	6	60.0
	1	413R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	10	100				
	1	49防災・危機管理対策の充実	10	100				
県央	1	1学ぶ力をはぐくむ教育の充実	9	100	1	17安心で良質な医療の確保	7	77.8
	1	15地域の保健・福祉を支える基盤づくり	9	100	2	42廃棄物処理対策の推進	6	66.7
	1	413R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	9	100	2	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	6	66.7
	4	2心の教育の推進	8	88.9	4	5自立した青少年の育成	5	55.6
	4	12安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	8	88.9	4	13高齢者の自立支援と生きがいつくりの推進	5	55.6
	4	13高齢者の自立支援と生きがいつくりの推進	8	88.9	4	14障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	5	55.6
	4	14障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	8	88.9	4	15地域の保健・福祉を支える基盤づくり	5	55.6
	4	17安心で良質な医療の確保	8	88.9	4	24地域に根ざした産業の振興	5	55.6
	4	23地域経済を牽引する産業の振興	8	88.9	4	413R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	5	55.6
	4	24地域に根ざした産業の振興	8	88.9				
	4	42廃棄物処理対策の推進	8	88.9				
	4	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	8	88.9				
	県南	1	12安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	11	100	1	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	8
1		42廃棄物処理対策の推進	11	100	2	24地域に根ざした産業の振興	7	63.6
1		43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	11	100	2	32活気あふれるまちづくり	7	63.6
4		1学ぶ力をはぐくむ教育の充実	10	90.9	4	17安心で良質な医療の確保	6	54.5
4		17安心で良質な医療の確保	10	90.9	4	31個性の輝く地域づくり	6	54.5
4		24地域に根ざした産業の振興	10	90.9	4	33いきいきとした農山村づくり	6	54.5
4		413R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	10	90.9	4	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	6	54.5
					4	42廃棄物処理対策の推進	6	54.5

〔参考表2〕

また、現状評価（『満足度』）が高い分野、行政の取組の必要性（『重要度』）が低い分野について、属性別に見ると次のとおりとなる。

区分	順位	問3(2)行政の取組の必要性(重要度:低い)			順位	問3(1)現状評価(満足度:高い)		
		項目	回答数(件)	割合(%)		項目	回答数(件)	割合(%)
全体	1	45豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	10	33.3	1	27安全で安定した水の供給	21	70.0
	2	7生涯学習の推進	11	36.7	2	30体系的な道路網の整備	15	50.0
	2	27安全で安定した水の供給	11	36.7	3	7生涯学習の推進	13	43.3
	4	10人権尊重の社会づくり	12	40.0	4	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	12	40.0
	5	8県民文化の振興	13	43.3	5	1学ぶ力をはぐむ教育の充実	11	36.7
	5	37国際化の推進	13	43.3	6	2心の教育の推進	10	33.3
	7	30体系的な道路網の整備	14	46.7	6	3健康な体づくりと学校安全教育の充実	10	33.3
	7	44環境を支える森林づくり	14	46.7	6	9県民総スポーツの推進	10	33.3
	9	18食品の安全と生活衛生の確保	15	50.0	6	13高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	10	33.3
	9	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	15	50.0	6	19多様なニーズに対応できる強い農業の確立	10	33.3
市	1	27安全で安定した水の供給	4	28.6	1	27安全で安定した水の供給	10	71.4
	2	8県民文化の振興	6	42.9	2	9県民総スポーツの推進	7	50.0
	2	10人権尊重の社会づくり	6	42.9	2	30体系的な道路網の整備	7	50.0
	2	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	6	42.9	4	7生涯学習の推進	6	42.9
	2	45豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	6	42.9	4	19多様なニーズに対応できる強い農業の確立	6	42.9
					4	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	6	42.9
町村	1	7生涯学習の推進	4	25.0	1	27安全で安定した水の供給	11	68.8
	1	45豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	4	25.0	2	30体系的な道路網の整備	8	50.0
	3	37国際化の推進	5	31.3	3	2心の教育の推進	7	43.8
	3	44環境を支える森林づくり	5	31.3	3	3健康な体づくりと学校安全教育の充実	7	43.8
	5	10人権尊重の社会づくり	6	37.5	3	7生涯学習の推進	7	43.8
	5	18食品の安全と生活衛生の確保	6	37.5				
県北	1	7生涯学習の推進	5	50.0	1	7生涯学習の推進	6	60.0
	1	8県民文化の振興	5	50.0	2	27安全で安定した水の供給	5	50.0
	1	10人権尊重の社会づくり	5	50.0	2	30体系的な道路網の整備	5	50.0
	1	27安全で安定した水の供給	5	50.0	4	1学ぶ力をはぐむ教育の充実	4	40.0
	1	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	5	50.0	4	5自立した青少年の育成	4	40.0
	1	44環境を支える森林づくり	5	50.0	4	19多様なニーズに対応できる強い農業の確立	4	40.0
	1	45豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	5	50.0	4	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	4	40.0
					4	45豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	4	40.0
県央	1	10人権尊重の社会づくり	2	22.2	1	27安全で安定した水の供給	9	100
	1	18食品の安全と生活衛生の確保	2	22.2	2	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	6	66.7
	3	27安全で安定した水の供給	3	33.3	3	12安心して子どもを産み育てることができる環境づく	5	55.6
	3	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	3	33.3	3	30体系的な道路網の整備	5	55.6
	3	40良好な地域環境の保全	3	33.3	5	1学ぶ力をはぐむ教育の充実	4	44.4
	3	45豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	3	33.3	5	36魅力ある“観光とちぎ”づくり	4	44.4
県南	1	7生涯学習の推進	2	18.2	1	27安全で安定した水の供給	7	63.6
	1	37国際化の推進	2	18.2	1	28生活排水処理施設の整備・普及	7	63.6
	1	45豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	2	18.2	3	3健康な体づくりと学校安全教育の充実	5	45.5
	4	27安全で安定した水の供給	3	27.3	3	9県民総スポーツの推進	5	45.5
	5	8県民文化の振興	4	36.4	3	13高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	5	45.5
	5	22活力ある林業・木材産業の振興	4	36.4	3	30体系的な道路網の整備	5	45.5
	5	30体系的な道路網の整備	4	36.4	3	44環境を支える森林づくり	5	45.5
	5	44環境を支える森林づくり	4	36.4	3	46安全で安心なまちづくりの推進	5	45.5

(3) 住民と行政の役割分担のあり方

今後、県民（個人、企業、各種団体などの民間全般）と行政の役割分担はどうあるべきか、市町村長の意識を把握したものである。

(1)、(2)と同じ項目ごとに、「行政が中心となって取り組むべき」、「住民と行政がより密接に連携し取り組むべき」、「住民が主体的に取り組むべき」の中から選択してもらった。

「行政が中心となって取り組むべき」と回答した者の割合が高い項目は、

- ・「25 成長性に富む企業の立地・定着促進」（回答数 23、76.7%）
- ・「27 安全で安定した水の供給」（同 22、73.3%）
- ・「17 安心で良質な医療の確保」、「30 体系的な道路網の整備」、「50 防災基盤の整備」（同 21、70%）
- ・「4 個性を生かす特色ある教育の充実」（同 20、66.7%）
- ・「1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実」、「40 良好な地域環境の保全」（同 18、60%）
- ・「28 生活排水処理施設の整備・普及」、「47 総合的な交通安全対策の推進」（同 17、56.7%）

「住民と行政がより密接に連携し取り組むべき」と回答した者の割合が高い項目は、

- ・「36 魅力ある“観光とちぎ”づくり」、「21 人と環境にやさしい農業の展開」（回答数 29、96.7%）
- ・「43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進」、「24 地域に根ざした産業の振興」（同 28、93.3%）
- ・「34 美しい景観とみどりづくり」、「37 国際化の推進」、「41 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進」、「6 青少年を取り巻く環境の整備」（同 27、90%）
- ・「9 県民総スポーツの推進」（同 26、86.7%）

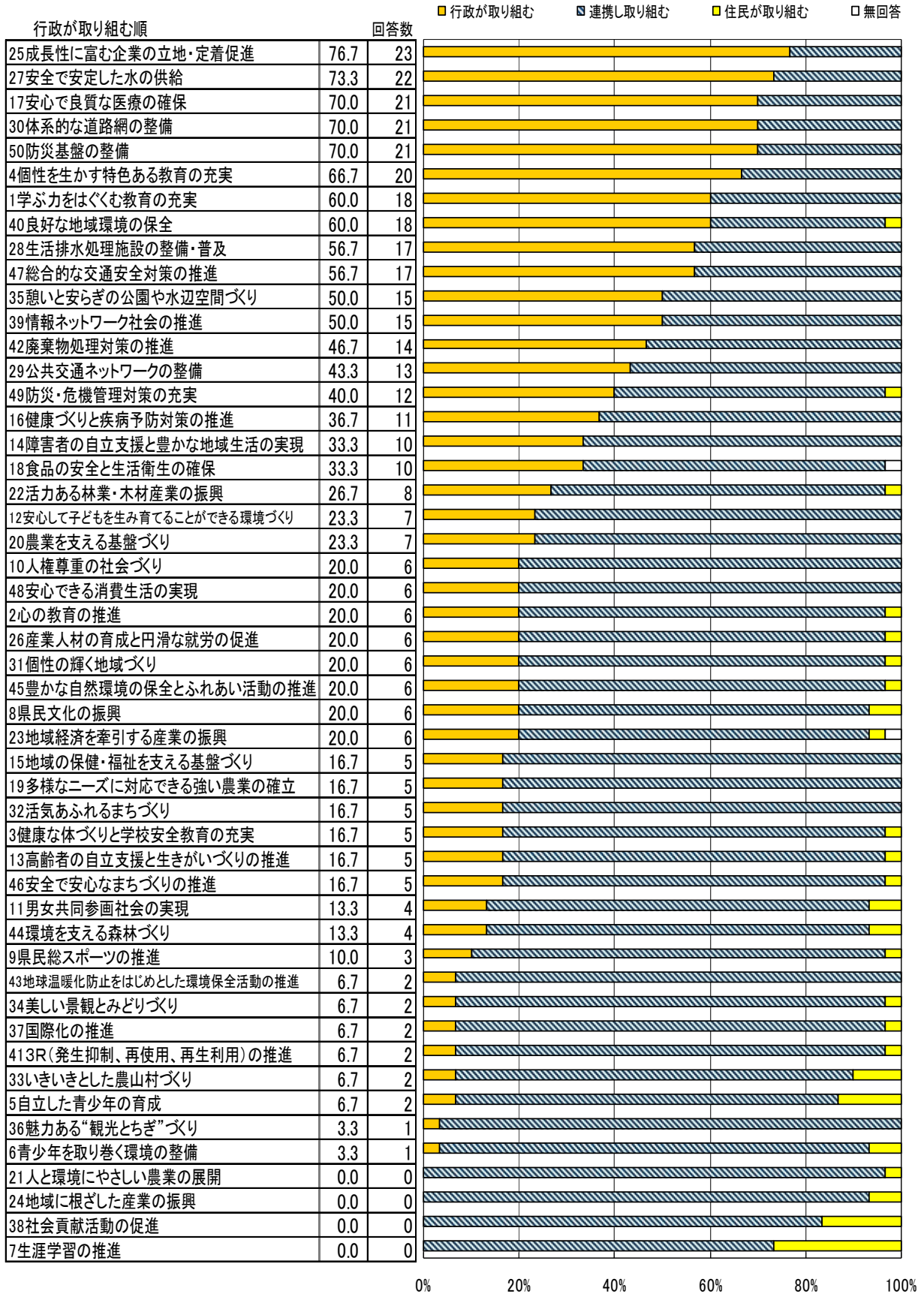
「住民が主体的に取り組むべき」と回答した者の割合が高い項目は、

- ・「7 生涯学習の推進」（回答数 8、26.7%）
- ・「38 社会貢献活動の促進」（同 5、16.7%）
- ・「5 自立した青少年の育成」（同 4、13.3%）

全体的に見ると、住民主体と回答した項目は少なく、住民と行政がより密接に連携し取り組むべきとの回答が多かった。

項目別には、教育の一部（4 特色ある教育の充実、1 学ぶ力をはぐくむ教育）や社会生活基盤整備などは、行政主体で取り組むべきとの回答が多かった。

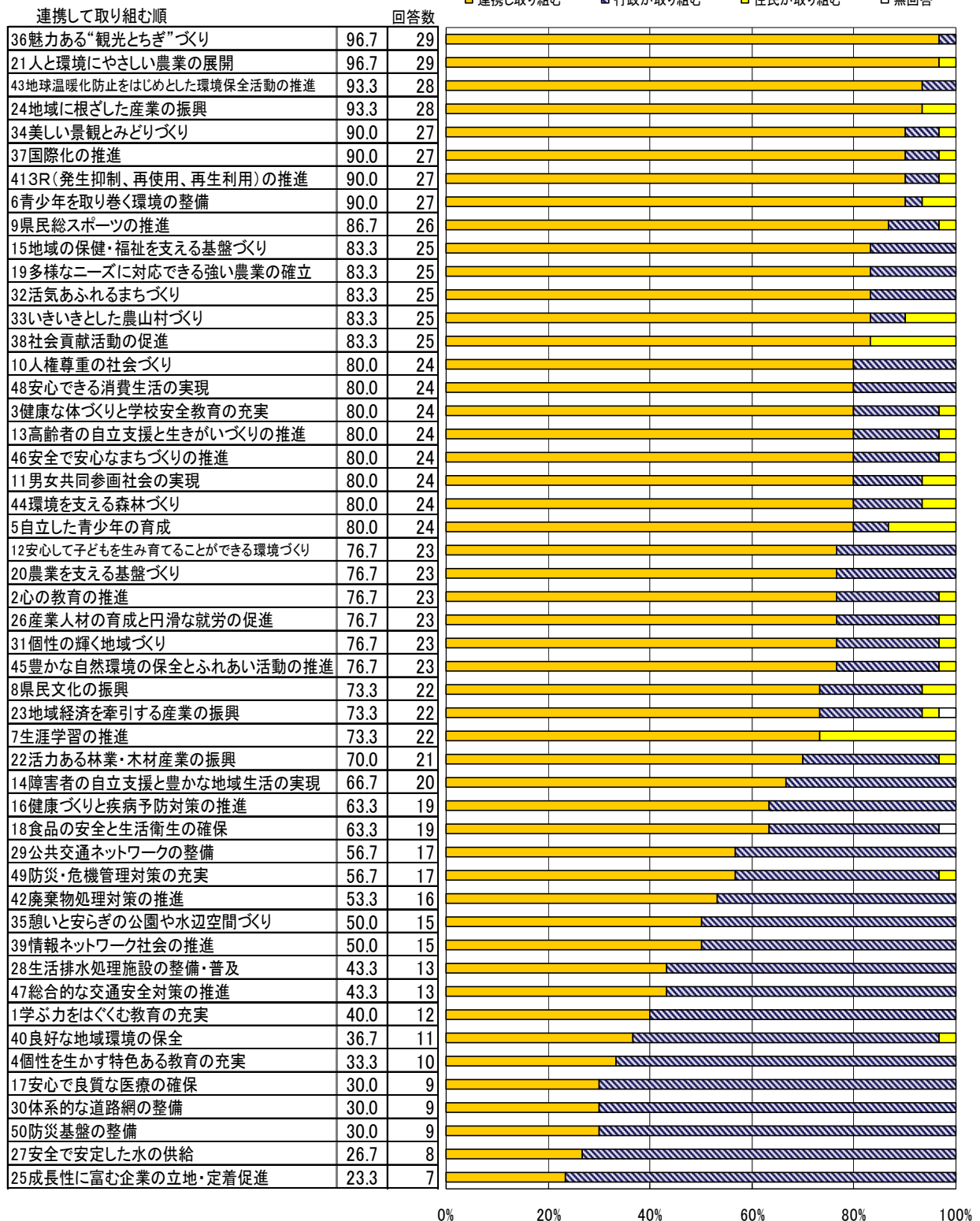
□ 行政が中心となって取り組むべき項目 (全体)



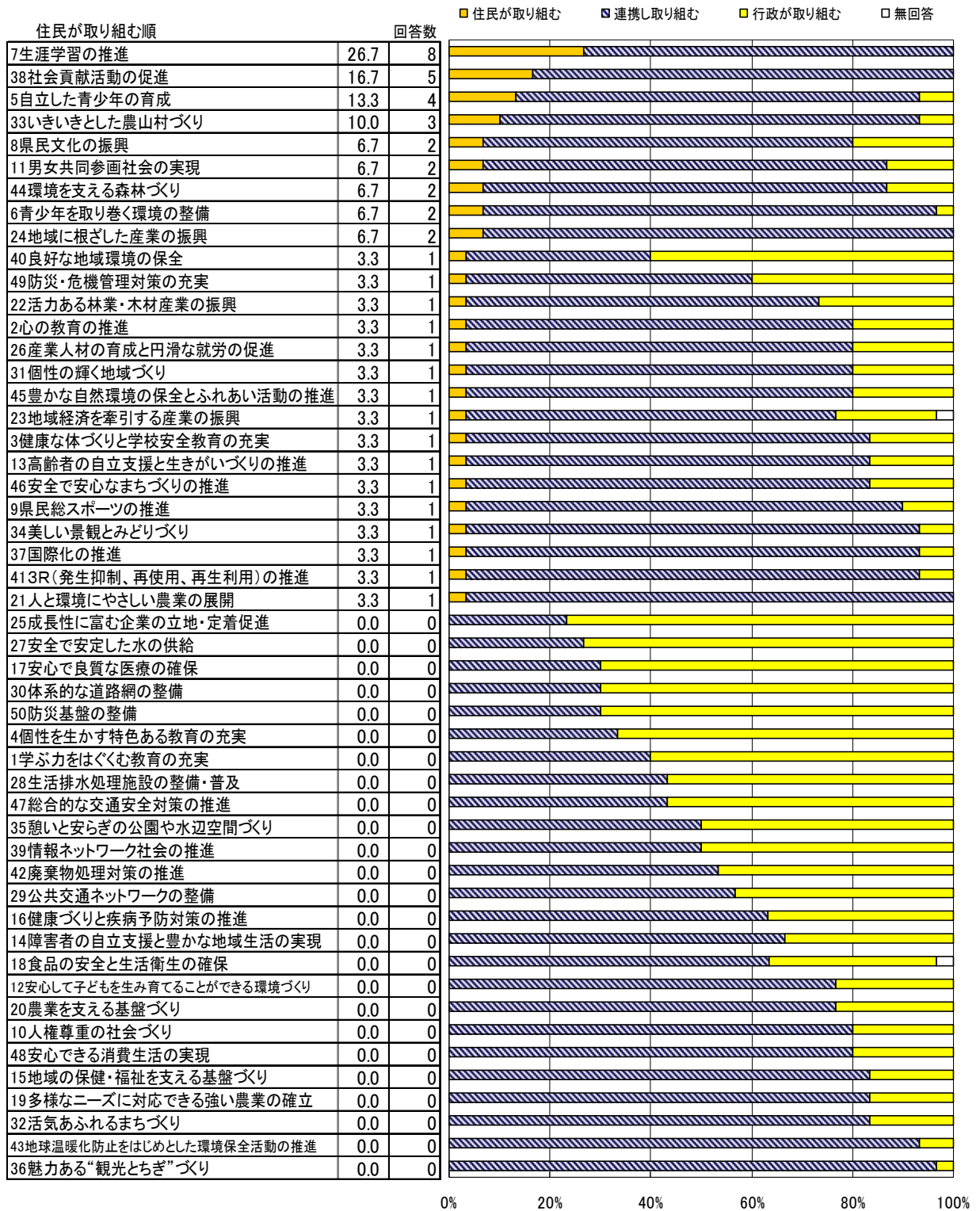
□住民と行政がより密接に連携して取り組むべき項目

(全体)

■連携し取り組む ■行政が取り組む ■住民が取り組む □無回答



□住民が主体的に取り組むべき項目 (全体)



(4) 今後の市町村の役割のあり方

今後、市町村の役割が大きくなるであろう項目について、市町村長の意識を把握したものである。50の項目ごとに、市町村の役割が、現状以上に高くなると考えるものを選択してもらった。

① 全体の特徴

「市町村の役割が大きくなる」と回答した者の割合が高い分野は、

- ・「12 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」(回答数 25、83.3%)
- ・「13 高齢者の自立支援と生きがいつくりの推進」(同 21、70%)
- ・「31 個性の輝く地域づくり」、「32 活気あふれるまちづくり」(同 20、66.7%)
- ・「24 地域に根ざした産業の振興」、「41 3R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進」(同 19、63.3%)
- ・「14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現」、「21 人と環境にやさしい農業の展開」(同 16、53.3%)

一方、「市町村の役割が大きくなる」と回答した者の割合が低い分野は、

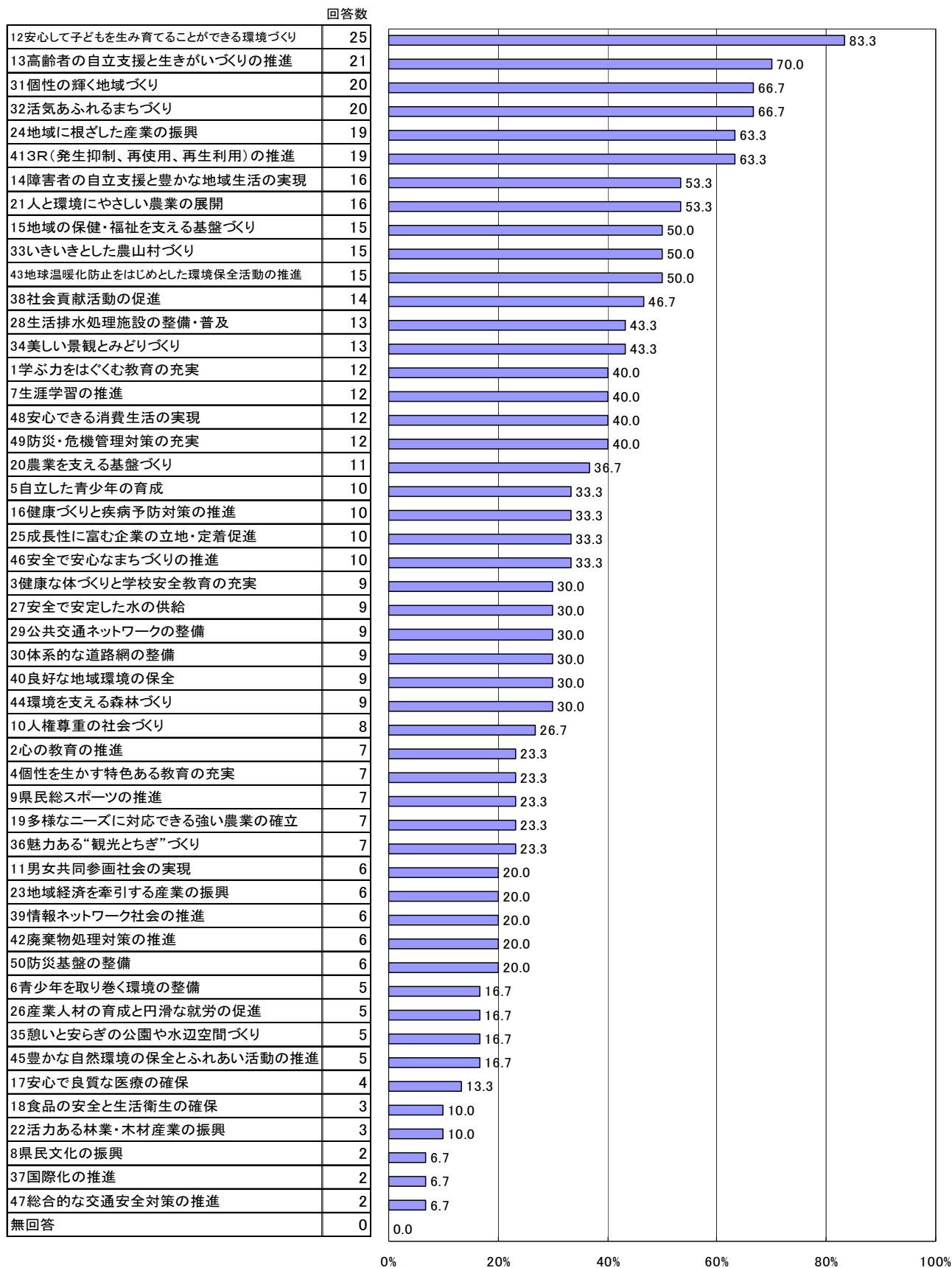
- ・「8 県民文化の振興」、「37 国際化の推進」、「47 総合的な交通安全対策の推進」(回答数 2、6.7%)
- ・「18 食品の安全と生活衛生の確保」、「22 活力ある林業・木材産業の振興」(同 3、10%)
- ・「17 安心して良質な医療の確保」(同 4、13.3%)
- ・「6 青少年を取り巻く環境の整備」、「26 産業人材の育成と円滑な就労の促進」、「35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり」、「45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進」(同 5、16.7%)

② 属性別の特徴

市・町村間では、上位を見るとおおむね差はなかったが、差の大きい分野としては、市では「49 防災・危機管理対策の充実」が高く、町村では「7 生涯学習の推進」が高かった。

また、地域別では、県北で「40 良好な地域環境の保全」、県央で「7 生涯学習の推進」、県南では「34 美しい景観とみどりづくり」が高かった。

口市町村の役割が現状以上に大きくなる分野（全体）



(5) 重要度・満足度・役割分担の相関

問3における

(1)の結果を、以下の方法により「満足度」として数値化した。なお、無回答の場合は数値化の際の母数から除外した。

【満足度（5段階区分）】	【満足度：評価結果の数値化】
5 充実している	= 4点
4 わりと充実している	= 3点
3 どちらともいえない	= 2点
2 やや不十分である	= 1点
1 不十分である	= 0点

(2)の結果を、以下の方法により「重要度」として数値化した。なお、無回答の場合は数値化の際の母数から除外した。

【重要度（4段階区分）】	【重要度：評価結果の数値化】
4 特に重点的に取り組む	= 3点
3 現状以上にに取り組む	= 2点
2 現状程度に取り組む	= 1点
1 現状以下でよい	= 0点

(3)の結果を、以下の方法により「役割分担」として数値化した。なお、無回答の場合は数値化の際の母数から除外した。（+値は行政中心、-値は住民中心になる）

【役割分担（3段階区分）】	【役割分担：評価結果の数値化】
3 行政が中心となって取り組むべき	= 1点
2 住民と行政がより密接に連携し取り組むべき	= 0点
1 住民が主体的に取り組むべき	= -1点

これらの結果は、以下のとおりである。

○重要度と満足度

個別の分野について、重要度を横軸に、満足度を縦軸に設定し、プロットした図を以下に示した。重要度が最も高く満足度が最も低い項目は「17 安心で良質な医療の確保」となっており、早急な対策が求められていることがわかる。以下、満足度が平均未満の項目を重要度が高い順にあげると、「12安心して子どもを生き育てることができる環境づくり」、「43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進」、「41 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進」、「24 地域に根ざした産業の振興」、「42 廃棄物処理対策の推進」の順となっている。重要度も満足度も高い項目としては、「1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実」、「2 心の教育の推進」などとなっている。重要度が低く満足度が高い項目は、「7 生涯学習の推進」、「27 安全で安定した水の供給」などとなっている。重要度も満足度も低い項目は、「37 国

際化の推進」、「22 活力ある林業・木材産業の振興」となっている。

○重要度と役割分担

個別の分野について、重要度を縦軸に、役割分担を横軸に設定し、プロットした図を以下に示した。横軸についてみると、「7生涯学習の推進」、「38社会貢献活動の促進」など7項目以外はすべてプラスの領域に位置し、多くの項目で行政の関わりが必要と考えている様子がわかる。特に「25成長性に富む企業の立地・定着促進」、「27安全で安定した水の供給」、「17安心で良質な医療の確保」、「30体系的な道路網の整備」、「50防災基盤の整備」、「4個性を生かす特色ある教育の充実」に関してはその傾向が強い。全体的には、官民連携が多くなっている。縦軸を加味した場合、行政の力が必要とされ、かつ重要度も高いのが25と17である。また、住民と行政の連携を求め、重要度も高いものが「413R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進」や「43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進」となっている。4、27、30、50は行政の力が必要としている割には、重要度は平均以下である。

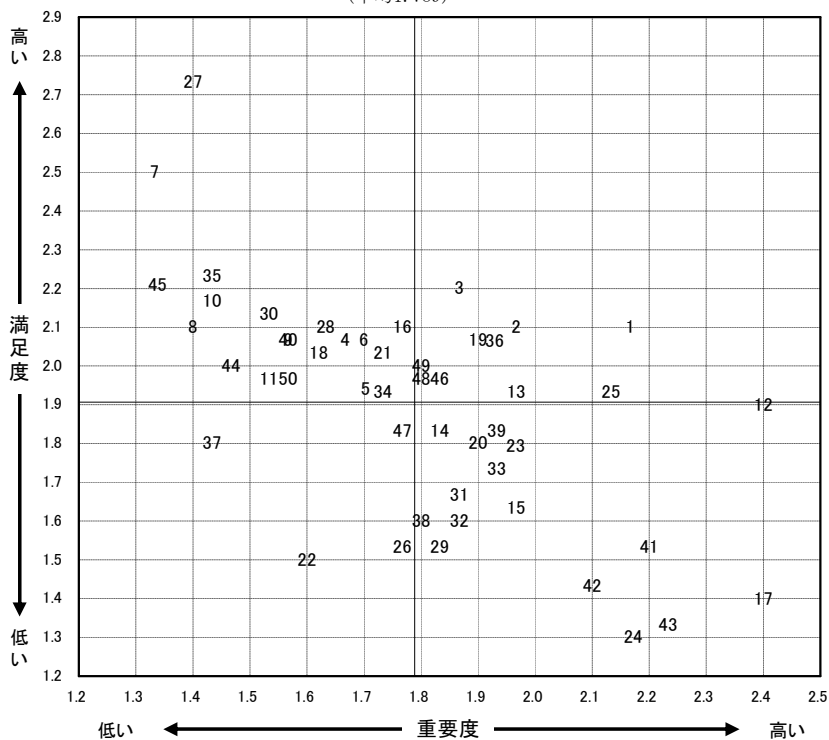
○満足度と役割分担

個別の分野について、満足度を縦軸に、役割分担を横軸に設定し、プロットした図を以下に示した。行政が中心に取り組むべきと考えている項目のうち、「27安全で安定した水の供給」は突出して高い満足度を示しており、その他「30体系的な道路網の整備」、「4個性を生かす特色ある教育の充実」、「50防災基盤の整備」、「25成長性に富む企業の立地・定着促進」、も平均以上の満足度を示しているが、「17安心で良質な医療の確保」は低くなっている。

一方、官民連携の傾向が強い「6青少年を取り巻く環境の整備」、「9県民総スポーツの推進」、「36魅力ある“観光とちぎ”づくり」の満足度は比較的高いが、「24地域に根ざした産業の振興」、「43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進」、「413R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進」の満足度は低い水準にある。

○重要度と満足度の相関図

(平均1.789)



(平均1.907)

A 重要度が平均より低く、満足度が平均より高い

16 健康づくりと疾病予防対策の推進
21 人と環境にやさしい農業の展開
34 美しい景観とみどりづくり
5 自立した青少年の育成
6 青少年を取り巻く環境の整備
4 個性を生かす特色ある教育の充実
28 生活排水処理施設の整備・普及
18 食品の安全と生活衛生の確保
9 県民総スポーツの推進
40 良好な地域環境の保全
50 防災基盤の整備
11 男女共同参画社会の実現
30 体系的な道路網の整備
44 環境を支える森林づくり
10 人権尊重の社会づくり
35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり
8 県民文化の振興
27 安全で安定した水の供給
7 生涯学習の推進
45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進

B 重要度、満足度も平均より高い

1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実
25 成長性に富む企業の立地・定着促進
2 心の教育の推進
13 高齢者の自立支援と生きがいの推進
36 魅力ある“観光とちぎ”づくり
19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立
3 健康な体づくりと学校安全教育の充実
46 安全で安心なまちづくりの推進
48 安心できる消費生活の実現
49 防災・危機管理対策の充実

満足度平均

C 重要度、満足度もともに平均より低い

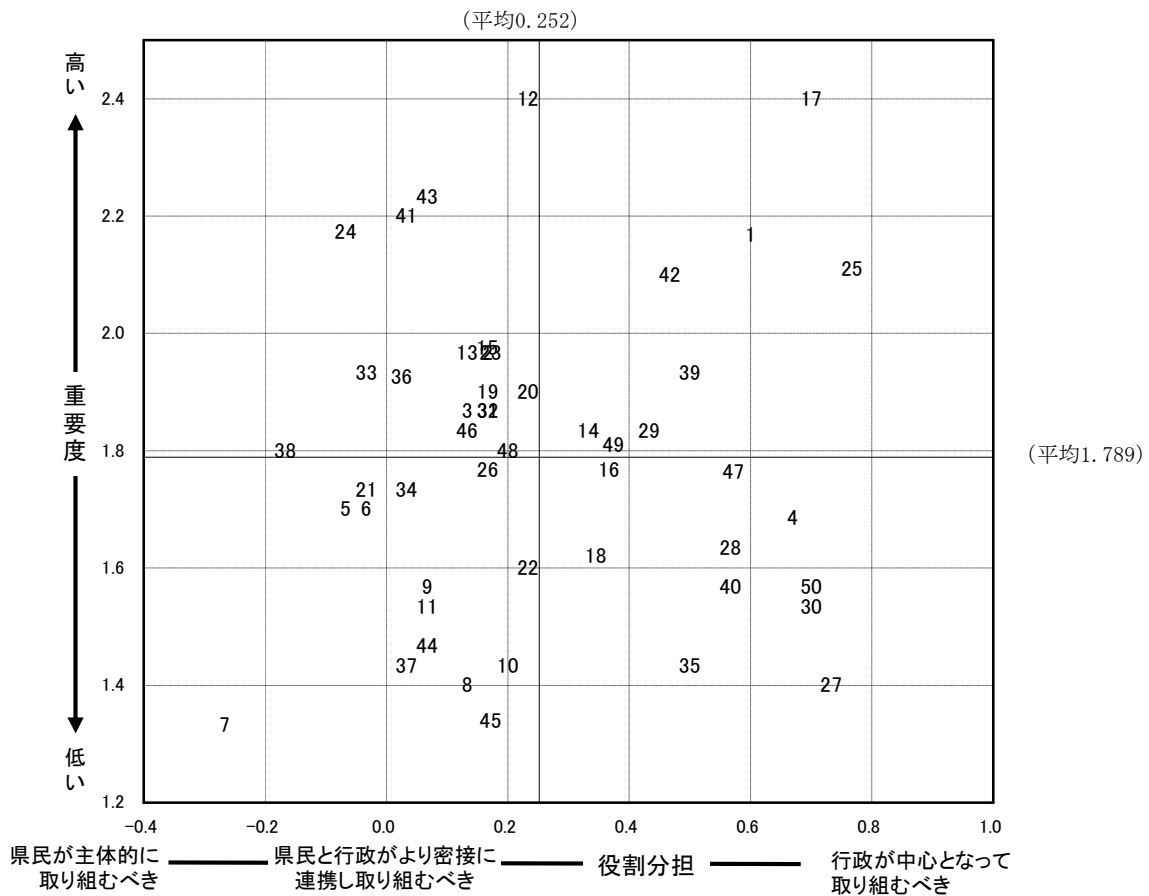
26 産業人材の育成と円滑な就労の促進
47 総合的な交通安全対策の推進
22 活力ある林業・木材産業の振興
37 国際化の推進

D 重要度が平均より高く、満足度が平均より低い

12 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり
17 安心して良質な医療の確保
43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進
41 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進
24 地域に根ざした産業の振興
42 廃棄物処理対策の推進
15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり
23 地域経済を牽引する産業の振興
33 いきいきとした農山村づくり
39 情報ネットワーク社会の推進
20 農業を支える基盤づくり
31 個性の輝く地域づくり
32 活気あふれるまちづくり
14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現
29 公共交通ネットワークの整備
38 社会貢献活動の促進

重要度平均

○重要度と役割分担の相関図



A 重要度が平均より高い、住民主体～連携

12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり
43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進
41 3R（発生抑制、再利用、再生利用）の推進
24 地域に根ざした産業の振興
2 心の教育の推進
13 高齢者の自立支援と生きがいつくりの推進
15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり
23 地域経済を牽引する産業の振興
33 いきいきとした農山村づくり
36 魅力ある“観光とちぎ”づくり
19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立
20 農業を支える基盤づくり
3 健康な体づくりと学校安全教育の充実
31 個性の輝く地域づくり
32 活気あふれるまちづくり
46 安全で安心なまちづくりの推進
38 社会貢献活動の促進
48 安心できる消費生活の実現

B 重要度平均より高い、連携～行政中心

17 安心で良質な医療の確保
1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実
25 成長性に富む企業の立地・定着促進
42 廃棄物処理対策の推進
39 情報ネットワーク社会の推進
14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現
29 公共交通ネットワークの整備
49 防災・危機管理対策の充実

重要度平均

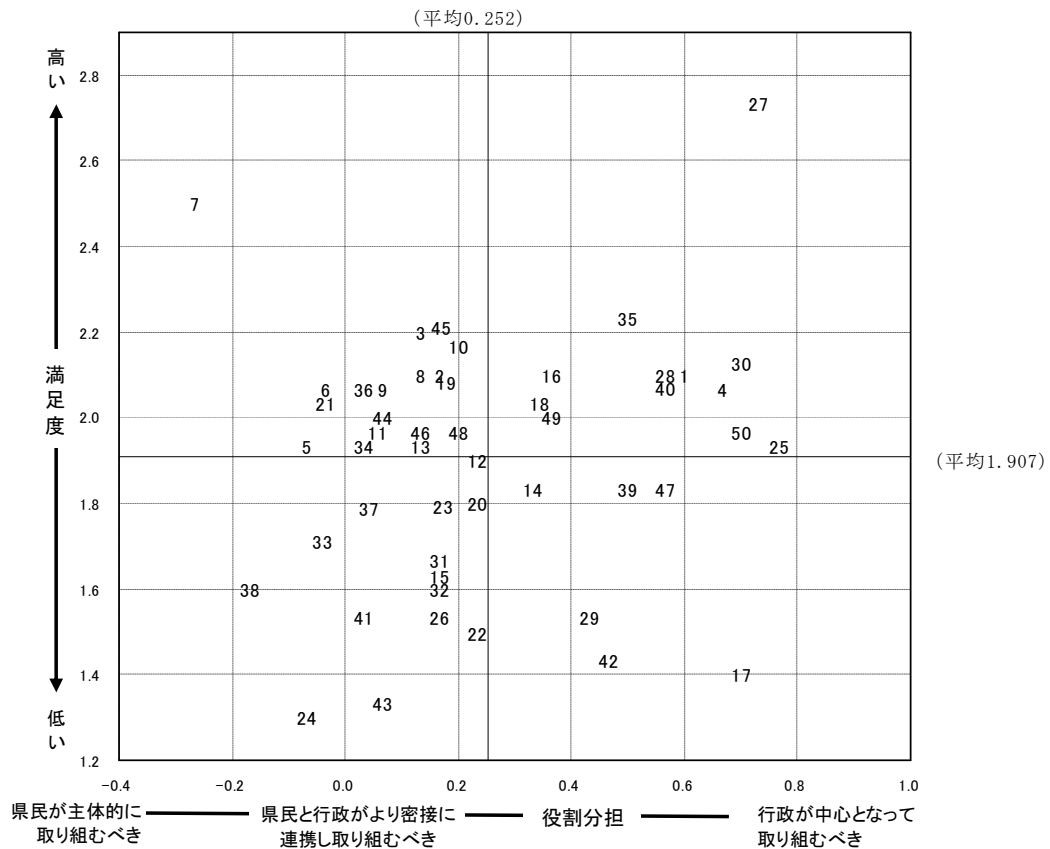
C 重要度平均より低い、住民主体～連携

26 産業人材の育成と円滑な就労の促進
21 人と環境にやさしい農業の展開
34 美しい景観とみどりづくり
5 自立した青少年の育成
6 青少年を取り巻く環境の整備
22 活力ある林業・木材産業の振興
9 県民総スポーツの推進
11 男女共同参画社会の実現
44 環境を支える森林づくり
10 人権尊重の社会づくり
37 国際化の推進
8 県民文化の振興
7 生涯学習の推進
45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進

D 重要度平均より低い、連携～行政主体

16 健康づくりと疾病予防対策の推進
47 総合的な交通安全対策の推進
4 個性を生かす特色ある教育の充実
28 生活排水処理施設の整備・普及
18 食品の安全と生活衛生の確保
40 良好な地域環境の保全
50 防災基盤の整備
30 体系的な道路網の整備
35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり
27 安全で安定した水の供給

○満足度と役割分担の相関図



A 満足度が平均より高い、住民主体～連携

7 生涯学習の推進
3 健康な体づくりと学校安全教育の充実
45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進
10 人権尊重の社会づくり
2 心の教育の推進
8 県民文化の振興
36 魅力ある“観光とちぎ”づくり
19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立
6 青少年を取り巻く環境の整備
9 県民総スポーツの推進
21 人と環境にやさしい農業の展開
44 環境を支える森林づくり
46 安全で安心なまちづくりの推進
48 安心できる消費生活の実現
11 男女共同参画社会の実現
13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進
34 美しい景観とみどりづくり
5 自立した青少年の育成

B 満足度平均より高い、連携～行政中心

27 安全で安定した水の供給
35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり
30 体系的な道路網の整備
1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実
16 健康づくりと疾病予防対策の推進
28 生活排水処理施設の整備・普及
4 個性を生かす特色ある教育の充実
40 良好な地域環境の保全
18 食品の安全と生活衛生の確保
49 防災・危機管理対策の充実
50 防災基盤の整備
25 成長性に富む企業の立地・定着促進

満足度平均

C 満足度平均より低い、住民主体～連携

12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり
20 農業を支える基盤づくり
37 国際化の推進
23 地域経済を牽引する産業の振興
33 いきいきとした農山村づくり
31 個性の輝く地域づくり
15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり
32 活気あふれるまちづくり
38 社会貢献活動の促進
41 3R(発生抑制、再利用、再生利用)の推進
26 産業人材の育成と円滑な就労の促進
22 活力ある林業・木材産業の振興
43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進
24 地域に根ざした産業の振興

D 満足度平均より低い、連携～行政主体

39 情報ネットワーク社会の推進
14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現
47 総合的な交通安全対策の推進
29 公共交通ネットワークの整備
42 廃棄物処理対策の推進
17 安心で良質な医療の確保

役割分担平均

4 市町村の重点推進項目について

(1) 今後特に重点的に推進していくべきと考えているもの

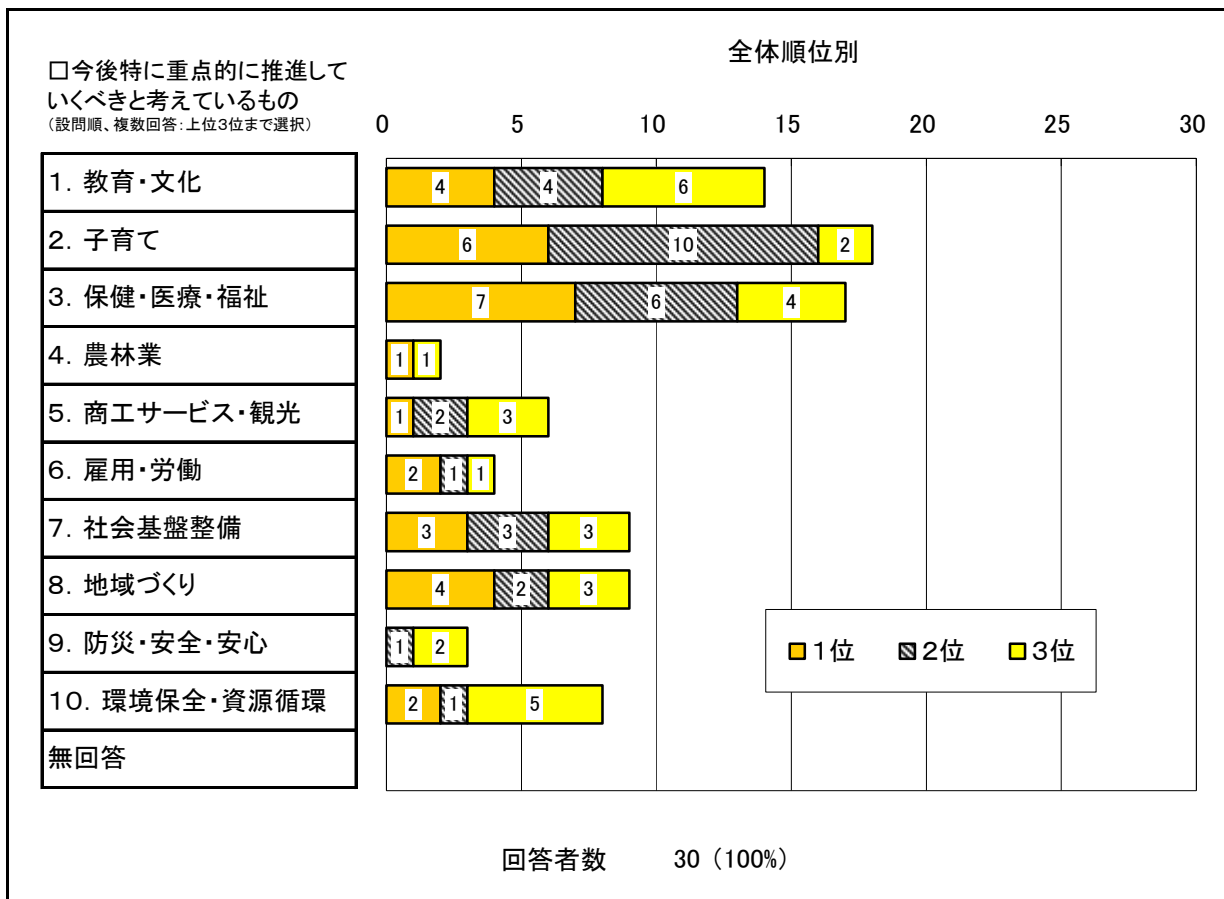
今後の市町村の取組における重点項目を、「1 教育・文化」、「2 子育て」、「3 保健・医療・福祉」、「4 農林業」、「5 商工サービス・観光」、「6 雇用・労働」、「7 社会基盤整備」、「8 地域づくり」、「9 防災・安全・安心」、「10 環境保全・資源循環」の10分野から順位を付け、上位3位までを選択してもらった。

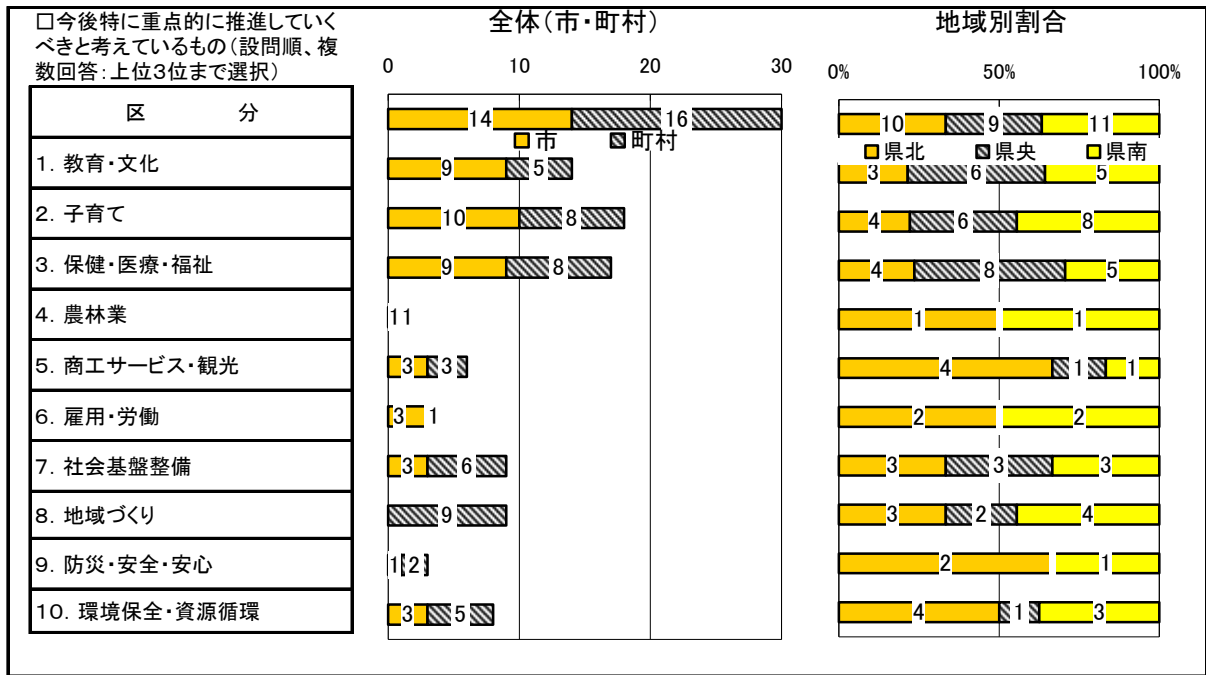
全体では「2 子育て」(回答数 18)、「3 保健・医療・福祉」(同 17)、「1 教育・文化」(同 14) を挙げる市町村長が多く、産業・労働関係の選択は少なかった。

順位区分の内訳を見てみると、1位では「3 保健・医療・福祉」、「2 子育て」、「1 教育・文化」及び「8 地域づくり」の順で多く、「9 防災・安全・安心」は1位選択がなかった。

市・町村別では、「8 地域づくり」を挙げた町村が多かったが、市ではなかった。

地域別では、県北で「5 商工サービス・観光」が多く、県央では「4 農林業」と「9 防災・安全・安心」は選択されなかった。





(2) 今後重点的に推進していくべきもの、または、課題となると思われること

(1)で選択された項目ごとに記載された具体的な内容は次のとおりである。(概要)

- 1 教育・文化
小中一貫教育の推進、学力の向上、学校ボランティアの活用
青少年の健全育成と地域・家庭の教育支援、心の教育の推進
学校施設の耐震化、整備充実
生涯学習の充実、スポーツ・レクリエーション活動推進
文化芸術活動推進、文化遺産の保存・活用
- 2 子育て
子供医療費助成拡大、学童保育等の充実、施設整備
妊婦乳幼児健診、母子相談の実施、企業内子育て環境アップ支援
総合的な子育て支援策の充実
- 3 保健・医療・福祉
健康づくり健診・相談・指導の充実、生涯を通じた健康づくりの推進
地域医療体制の充実（医師確保、施設改築、休日・夜間・救急医療体制等）
障害者の社会参加促進
高齢者の自立といきがづくり、介護サービスの充実
- 4 農林業
農・観・商・工等異業種間の交流・連携による産業全体の活性化
- 5 商工サービス・観光
企業誘致と進出環境整備
商店街等の活性化、地域経済の底上げ、特産品のブランド化
世界遺産・自然・温泉等の豊富な観光資源を有機的に結びつけた観光メニューづくり
観光拠点の充実
- 6 雇用・労働
雇用創出のための企業誘致
中小企業の人材育成
東北道・北関東道の結節点である栃木インター周辺地域の産業基盤整備
- 7 社会基盤整備
幹線道路、生活道路など交通網の整備
中心市街地活性化、街なか居住、定住基盤の整備
下水道整備の促進、土地区画整理事業の推進
- 8 地域づくり
コミュニティ組織の育成、自治会への支援（リーダーの育成）
地域包括支援センターを中心に、自治会を基盤とした見守りネットワークづくり
住民との協働による地域づくり
特色を活かした地域づくり活動の支援
- 9 防災・安全・安心
自主防災組織の支援育成
ブロードバンド環境整備による災害情報伝達システムの整備
食の安全確保、地域防災対策の充実
- 10 環境保全・資源循環
住宅用太陽光発電システム設置支援、バイオマスの利活用支援等
産業廃棄物処理施設の集中立地、市民協働による立地規制検討
環境と共生した地域資源を活用した取組推進、自然環境の保全

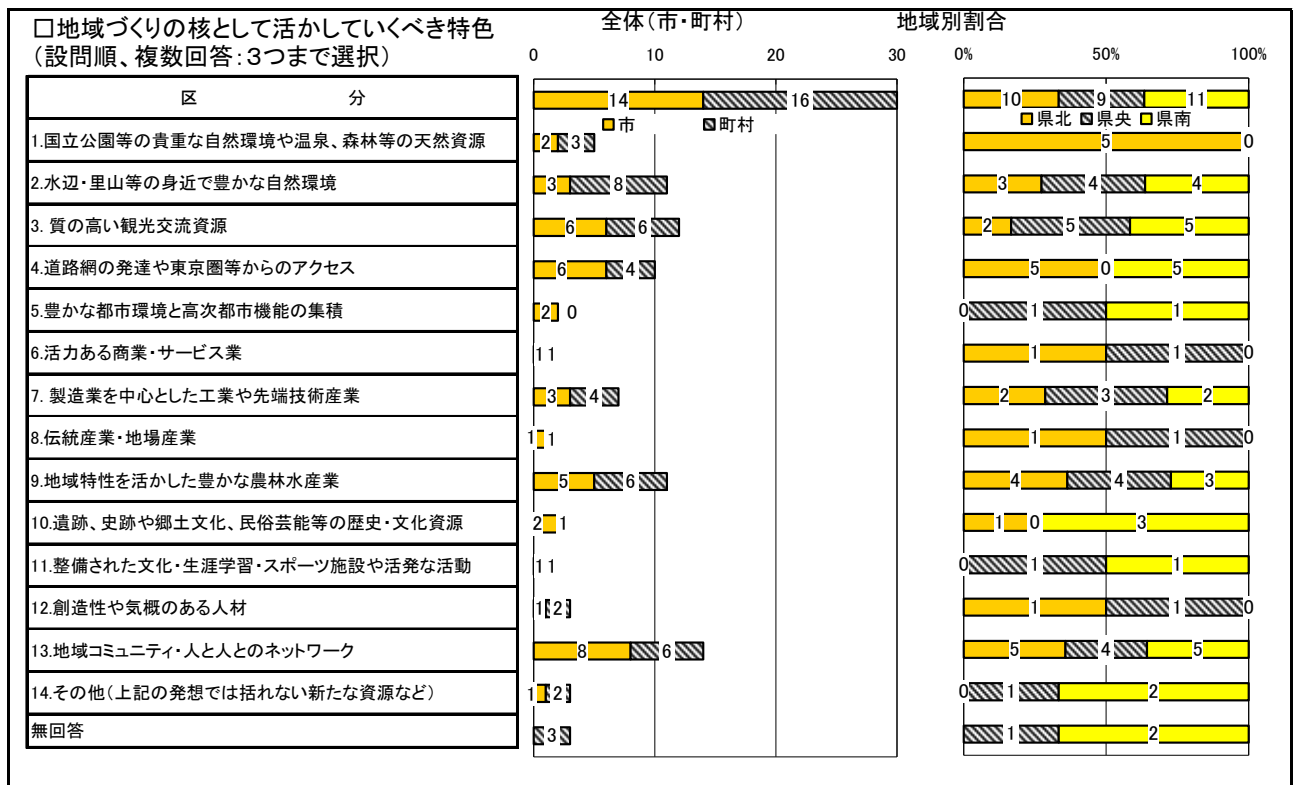
5 市町村の特色ある地域づくりについて

地域づくりの核として活かしていくべき特色を14項目より選択してもらった。

全体では「13 地域コミュニティ・人と人とのネットワーク」(回答数14)が最も多く、次いで「3 質の高い観光交流資源」(同12)、「2 水辺・里山等の身近で豊かな自然環境」及び「9 地域特性を活かした豊かな農林水産業」(同11)、「4 道路網の発達や東京圏等からのアクセス」(同10)となっている。

市・町村別、地域別ともに全体と同様の傾向を示していた。

但し、県北では「1 国立公園等の貴重な自然環境や温泉、森林等の天然資源」が上位となり、恵まれた地域資源を活かしたいと考えていることが伺える。



なお、各市町村が特色と考える具体的内容は、個々の施設名等であるため省略した。

6 経年変化

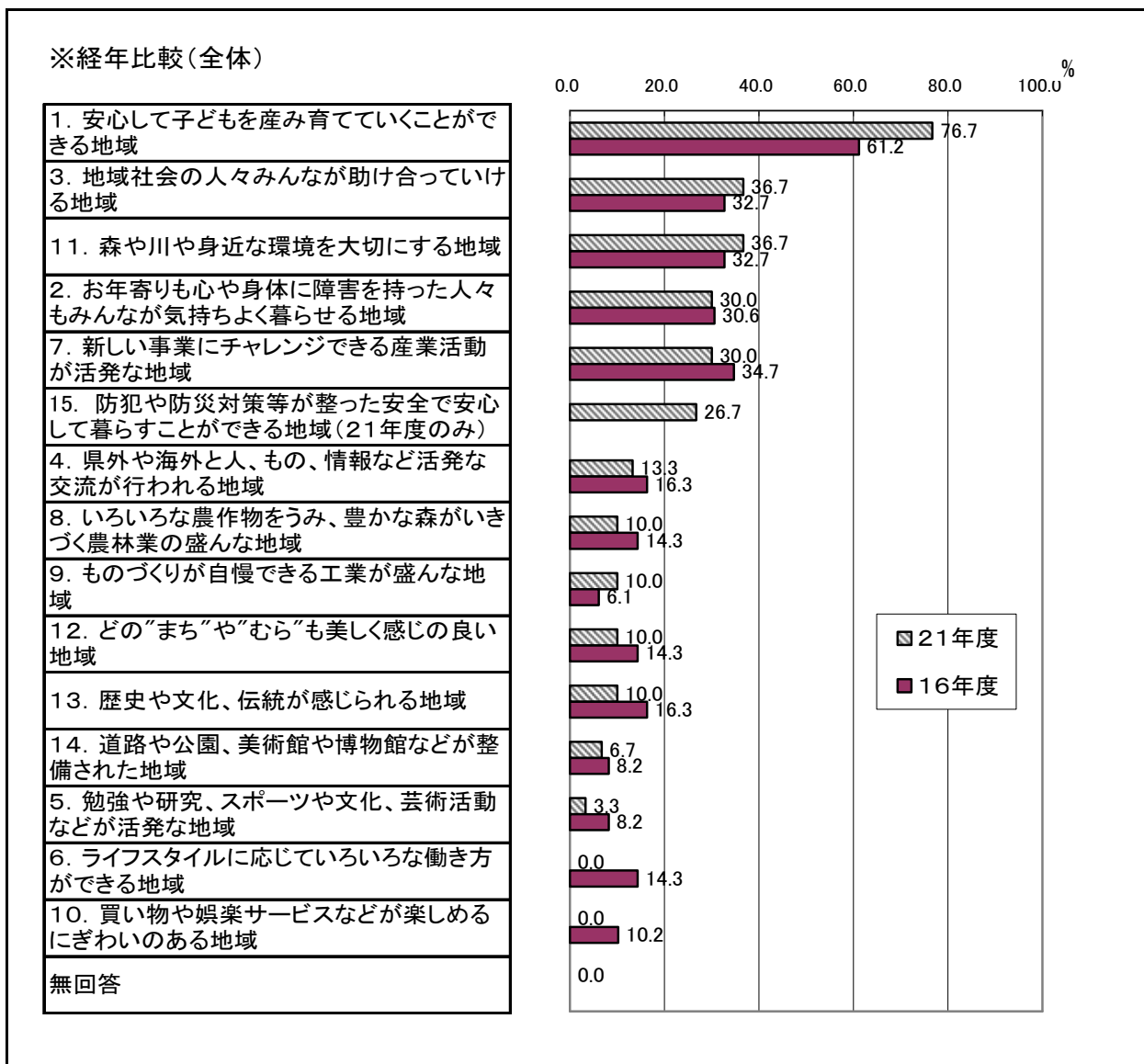
前回調査（平成16年に実施した市町村長意向調査）と同一の調査項目について結果を比較した。

なお、様々な取組の現状評価（満足度、不満度）と今後の必要性（重要度）の比較については、前回の項目と一致しないため、主たる取組が類似している項目と比較した。

また、『満足（不満）度』、『重要度』については、市・町村別、地域別に、それぞれの高い項目についての第5順位までを整理した。

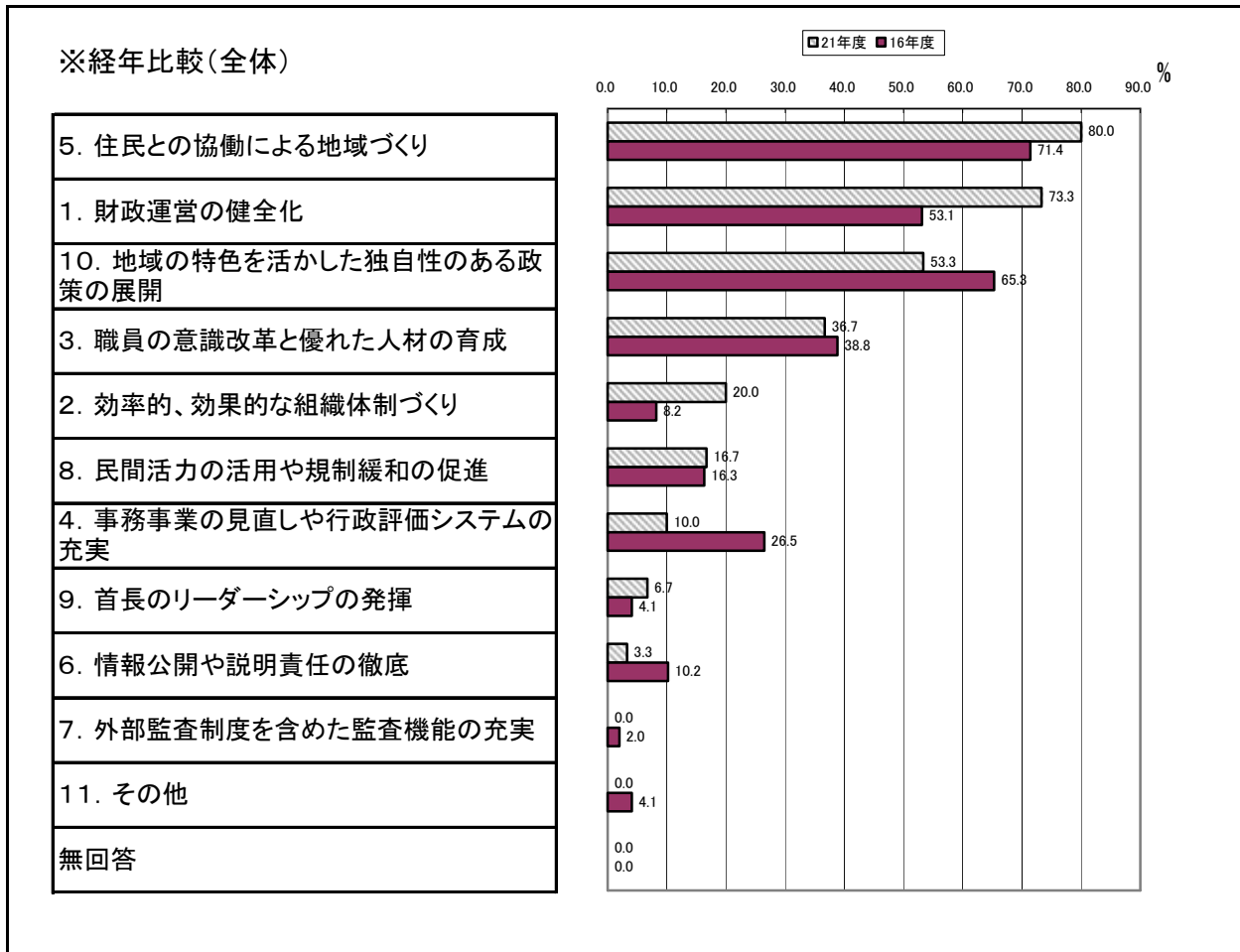
(1) これからの望ましい「とちぎ」の姿」

前回と同様に「1 安心して子どもを産み育てていくことができる地域」が最も高く、他を大きく離している。2位は前回3位の「3 地域社会の人々みんなが助け合っている地域」と「11 森や川や身近な環境を大切にできる地域」、次いで、前回2位であった「7 新しい事業にチャレンジできる産業活動が活発な地域」と5位であった「2 お年寄りも心や身体に障害を持った人々もみんなが気持ちよく暮らせる地域」となっており、上位5位までは、若干の入れ替えはあるが、ほとんど変動はなかった。



(2) 今後の行政運営の重点項目

前回と同様に「5 住民との協働による地域づくり」が最も高かったが、前回3位だった「1 財政運営の健全化」を選択した割合が大きな伸びを示し2位となった。これに対し、前回2位であった「10 地域の特色を活かした独自性のある政策の展開」は割合が大きく低下し、順位を3位に下げた。4位は、今回、前回とも変わらず「3 職員の意識改革と優れた人材の育成」であった。



(3) “とちぎ”の現状についての評価（満足度・不満度）

○満足度

全体の上位項目を見てみると、「30 体系的な道路網の整備」（前回 15 位→今回 2 位）、「1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実」（同 13 位→5 位）、「2 心の教育の推進」（同 15 位→6 位）、「3 健康な体づくりと学校安全教育の充実」（同 27 位→6 位）、「9 県民総スポーツの推進」（同 15 位→6 位）など、教育分野の順位の上昇が目立っている。

市・町村別や地域別に見ると、全体で高くなった 30 は全ての区分で上位に入っていた。その他特徴的なのは、市と県北では「19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立」、県央で「12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり」、県南で「44 環境を支える森林づくり」と「46 安全で安心なまちづくりの推進」が大きく順位・割合ともに上げた。

市町村長調査 現状評価(満足度:高い) 経年比較表

順位	平成16年実施	回答数	満足高い		順位	平成21年度	回答数	満足高い
2	38安全で安定した水の供給	27	55.1	→	1	27安全で安定した水の供給	21	70.0
15	45道路ネットワーク	12	24.5	→	2	30体系的な道路網の整備	15	50.0
3	7生涯学習	19	38.8	→	3	7生涯学習の推進	13	43.3
6	43公園や水辺の整備	17	34.7	→	4	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	12	40.0
13	1基礎学力の向上	14	28.6	→	5	1学ぶ力をはぐむ教育の充実	11	36.7
15	2心の教育	12	24.5	→	6	2心の教育の推進	10	33.3
27	5快適でゆとりある教育環境②	9	18.4	→	6	3健康な体づくりと学校安全教育の充実	10	33.3
15	9県民総スポーツ	12	24.5	→	6	9県民総スポーツの推進	10	33.3
10	15高齢者の自立と生きがいづくり	15	30.6	→	6	13高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	10	33.3
13	24農産物の安定供給	14	28.6	→	6	19多様なニーズに対応できる強い農業の確立	10	33.3
18	40下水道の整備	11	22.4	→	6	28生活排水処理施設の整備・普及	10	33.3
18	8県民文化	11	22.4	→	12	8県民文化の振興	9	30.0
25	14子育て環境	10	20.4	→	12	12安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	9	30.0
10	34観光の振興	15	30.6	→	12	36魅力ある“観光とちぎ”づくり	9	30.0
52	29森林の整備	3	6.1	→	12	44環境を支える森林づくり	9	30.0
46	4個性を生かせる多様な学校教育	4	8.2	→	16	4個性を生かす特色ある教育の充実	8	26.7
4	17健康づくり	18	36.7	→	16	16健康づくりと疾病予防対策の推進	8	26.7
25	26安全・安心な農産物の生産と流通	10	20.4	→	16	21人と環境にやさしい農業の展開	8	26.7
46	42美しい景観づくり	4	8.2	→	16	34美しい景観とみどりづくり	8	26.7
30	46情報ネットワーク	8	16.3	→	16	39情報ネットワーク社会の推進	8	26.7
27	55豊かな自然環境の保全	9	18.4	→	16	45豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	8	26.7
38	48犯罪のない地域づくり	6	12.2	→	16	46安全で安心なまちづくりの推進	8	26.7
18	6青少年の健全育成②	11	22.4	→	23	6青少年を取り巻く環境の整備	7	23.3
18	22人権を尊重する社会づくり	11	22.4	→	23	10人権尊重の社会づくり	7	23.3
30	16障害者の自立と社会参加	8	16.3	→	23	14障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	7	23.3
1	25特色ある農産物の生産	29	59.2	→	23	20農業を支える基盤づくり	7	23.3
42	33企業誘致	5	10.2	→	23	25成長性に富む企業の立地・定着促進	7	23.3
10	27食と農の理解促進②	15	30.6	→	23	33いきいきとした農山村づくり	7	23.3
8	47災害対策①	16	32.7	→	23	49防災・危機管理対策の充実	7	23.3
18	6青少年の健全育成①	11	22.4	→	30	5自立した青少年の育成	6	20.0
6	18医療サービス	17	34.7	→	30	17安心して良質な医療の確保	6	20.0
30	53環境汚染の防止	8	16.3	→	30	40良好な地域環境の保全	6	20.0
8	47災害対策②	16	32.7	→	30	50防災基盤の整備	6	20.0
27	50交通安全の確保	9	18.4	→	34	47総合的な交通安全対策の推進	5	16.7
30	51消費生活の安定	8	16.3	→	34	48安心できる消費生活の実現	5	16.7
30	23男女共同参画社会づくり	8	16.3	→	36	11男女共同参画社会の実現	4	13.3
42	52食品の安全性確保	5	10.2	→	36	18食品の安全と生活衛生の確保	4	13.3
57	30新事業の創出	2	4.1	→	36	23地域経済を牽引する産業の振興	4	13.3
38	39適切な土地利用	6	12.2	→	36	31個性の輝く地域づくり	4	13.3
42	41快適で活力あるまちづくり	5	10.2	→	40	32活気あふれるまちづくり	3	10.0
52	13国際化への対応	3	6.1	→	40	37国際化の推進	3	10.0
18	20保健・医療・福祉を支える人材の育成	11	22.4	→	42	15地域の保健・福祉を支える基盤づくり	2	6.7
57	44公共交通ネットワーク	2	4.1	→	42	29公共交通ネットワークの整備	2	6.7
42	10社会貢献活動	5	10.2	→	42	38社会貢献活動の促進	2	6.7
46	54廃棄物対策①	4	8.2	→	42	413R(発生抑制、再利用、再生利用)の推進	2	6.7
46	56地球温暖化の防止	4	8.2	→	42	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	2	6.7
30	28林業の活性化	8	16.3	→	47	22活力ある林業・木材産業の振興	1	3.3
52	32地域に密着した産業の育成	3	6.1	→	47	24地域に根ざした産業の振興	1	3.3
46	54廃棄物対策②	4	8.2	→	47	42廃棄物処理対策の推進	1	3.3
46	36雇用の安定と職業能力の向上	4	8.2	→	50	26産業人材の育成と円滑な就労の促進	0	0.0

市町村長調査 現状評価(満足度:高い) 経年比較表

区分	順位	平成16年実施	回答数	満足高い		順位	平成21年度	回答数	満足高い
市	2	38安全で安定した水の供給	7	58.3	→	1	27安全で安定した水の供給	10	71.4
	8	9県民総スポーツ	5	41.7	→	2	9県民総スポーツの推進	7	50.0
	34	45道路ネットワーク	2	16.7	→	2	30体系的な道路網の整備	7	50.0
	4	7生涯学習	6	50.0	→	4	7生涯学習の推進	6	42.9
	34	24農産物の安定供給	2	16.7	→	4	19多様なニーズに対応できる強い農業の確立	6	42.9
町村	4	43公園や水辺の整備	6	50.0	→	4	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	6	42.9
	2	2安全で安定した水の供給	19	51.4	→	1	27安全で安定した水の供給	11	68.8
	12	2道路ネットワーク	9	24.3	→	2	30体系的な道路網の整備	8	50.0
	12	12心の教育	9	24.3	→	3	2心の教育の推進	7	43.8
	18	18快適でゆとりある教育環境②	8	21.6	→	3	3健康な体づくりと学校安全教育の充実	7	43.8
県北	3	3生涯学習	13	35.1	→	3	7生涯学習の推進	7	43.8
	15	7生涯学習	4	19.0	→	1	7生涯学習の推進	6	60.0
	1	38安全で安定した水の供給	11	52.4	→	2	27安全で安定した水の供給	5	50.0
	15	45道路ネットワーク	4	19.0	→	2	30体系的な道路網の整備	5	50.0
	15	1基礎学力の向上	4	19.0	→	4	1学ぶ力をはぐくむ教育の充実	4	40.0
県央	15	6青少年の健全育成①	4	19.0	→	4	5自立した青少年の育成	4	40.0
	43	24農産物の安定供給	2	9.5	→	4	19多様なニーズに対応できる強い農業の確立	4	40.0
	5	43公園や水辺の整備	7	33.3	→	4	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	4	40.0
	15	55豊かな自然環境の保全	4	19.0	→	4	45豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	4	40.0
	2	38安全で安定した水の供給	9	64.3	→	1	27安全で安定した水の供給	9	100.0
県南	12	43公園や水辺の整備	4	28.6	→	2	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	6	66.7
	21	14子育て環境	3	21.4	→	3	12安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	5	55.6
	12	45道路ネットワーク	4	28.6	→	3	30体系的な道路網の整備	5	55.6
	3	1基礎学力の向上	8	57.1	→	5	1学ぶ力をはぐくむ教育の充実	4	44.4
	5	34観光の振興	6	42.9	→	5	36魅力ある“観光とちぎ”づくり	4	44.4
県南	3	38安全で安定した水の供給	6	42.9	→	1	27安全で安定した水の供給	7	63.6
	12	40下水道の整備	4	28.6	→	1	28生活排水処理施設の整備・普及	7	63.6
	27	5快適でゆとりある教育環境②	2	14.3	→	3	3健康な体づくりと学校安全教育の充実	5	45.5
	6	9県民総スポーツ	5	35.7	→	3	9県民総スポーツの推進	5	45.5
	12	15高齢者の自立と生きがいづくり	4	28.6	→	3	13高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	5	45.5
	19	45道路ネットワーク	3	21.4	→	3	30体系的な道路網の整備	5	45.5
	39	29森林の整備	1	7.1	→	3	44環境を支える森林づくり	5	45.5
27	48犯罪のない地域づくり	2	14.3	→	3	46安全で安心なまちづくりの推進	5	45.5	

○不満足

全体の上位項目を見てみると、「17 安心で良質な医療の確保」(前回 13 位→今回 1 位)、「22 活力ある林業・木材産業の振興」(同 22 位→4 位)、「26 産業人材の育成と円滑な就労の促進」(同 29 位→6 位)、「33 いきいきとした農山村づくり」(同 39 位→6 位)、「38 社会貢献活動の促進」(同 16 位→9 位) などとなっており、更に 20 位まで広げると、産業、医療、子育て、保健、福祉などの項目の不満足が高まっていた。

市・町村別や地域別に見ても、産業、医療、保健、福祉などの項目の不満足が高まっていた。

特徴的なのは、県南で「31 個性の輝く地域づくり」、「33 いきいきとした農山村づくり」、「35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり」など地域づくりの項目が大きく順位・割合ともに上げた。

市町村長調査 現状評価(不満度:高い) 経年比較表

順位	平成16年実施	回答数	不満高い
13	18医療サービス	25	51.0
5	56地球温暖化の防止	30	61.2
3	32地域に密着した産業の育成	32	65.3
1	54廃棄物対策②	34	69.4
22	28林業の活性化	20	40.8
29	36雇用の安定と職業能力の向上	18	36.7
1	54廃棄物対策①	34	69.4
39	27食と農の理解促進②	13	26.5
2	44公共交通ネットワーク	33	67.3
16	10社会貢献活動	23	46.9
31	14子育て環境	17	34.7
53	15高齢者の自立と生きがいづくり	9	18.4
45	20保健・医療・福祉を支える人材の育成	11	22.4
9	41快適で活力あるまちづくり	27	55.1
56	25特色ある農産物の生産	7	14.3
50	39適切な土地利用	10	20.4
14	16障害者の自立と社会参加	24	49.0
22	45道路ネットワーク	20	40.8
14	46情報ネットワーク	24	49.0
11	48犯罪のない地域づくり	26	53.1
50	6青少年の健全育成①	10	20.4
31	24農産物の安定供給	17	34.7
7	30新事業の創出	29	59.2
22	42美しい景観づくり	20	40.8
25	29森林の整備	19	38.8
31	50交通安全の確保	17	34.7
38	1基礎学力の向上	14	28.6
45	9県民総スポーツ	11	22.4
9	33企業誘致	27	55.1
11	13国際化への対応	26	53.1
42	8県民文化	12	24.5
8	40下水道の整備	28	57.1
39	43公園や水辺の整備	13	26.5
45	47災害対策②	11	22.4
36	2心の教育	15	30.6
25	4個性を生かせる多様な学校教育	19	38.8
50	6青少年の健全育成②	10	20.4
16	23男女共同参画社会づくり	23	46.9
45	17健康づくり	11	22.4
25	26安全・安心な農産物の生産と流通	19	38.8
50	51消費生活の安定	10	20.4
45	47災害対策①	11	22.4
39	34観光の振興	13	26.5
19	5快適でゆとりある教育環境②	21	42.9
45	53環境汚染の防止	11	22.4
42	52食品の安全性確保	12	24.5
34	55豊かな自然環境の保全	16	32.7
53	22人権を尊重する社会づくり	9	18.4
57	38安全で安定した水の供給	6	12.2
42	7生涯学習	12	24.5

順位	平成21年度	回答数	不満高い
1	17安心で良質な医療の確保	20	66.7
2	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	19	63.3
3	24地域に根ざした産業の振興	18	60.0
4	42廃棄物処理対策の推進	16	53.3
4	22活力ある林業・木材産業の振興	16	53.3
6	26産業人材の育成と円滑な就労の促進	14	46.7
6	413R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	14	46.7
6	33いきいきとした農山村づくり	14	46.7
9	29公共交通ネットワークの整備	13	43.3
9	38社会貢献活動の促進	13	43.3
11	12安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	12	40.0
11	13高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	12	40.0
11	15地域の保健・福祉を支える基盤づくり	12	40.0
11	32活気あふれるまちづくり	12	40.0
15	20農業を支える基盤づくり	11	36.7
15	31個性の輝く地域づくり	11	36.7
15	14障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	11	36.7
18	30体系的な道路網の整備	10	33.3
18	39情報ネットワーク社会の推進	10	33.3
18	46安全で安心なまちづくりの推進	10	33.3
21	5自立した青少年の育成	9	30.0
21	19多様なニーズに対応できる強い農業の確立	9	30.0
21	23地域経済を牽引する産業の振興	9	30.0
21	34美しい景観とみどりづくり	9	30.0
21	44環境を支える森林づくり	9	30.0
21	47総合的な交通安全対策の推進	9	30.0
27	1学ぶ力をはぐむ教育の充実	8	26.7
27	9県民総スポーツの推進	8	26.7
27	25成長性に富む企業の立地・定着促進	8	26.7
27	37国際化の推進	8	26.7
31	8県民文化の振興	7	23.3
31	28生活排水処理施設の整備・普及	7	23.3
31	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	7	23.3
31	50防災基盤の整備	7	23.3
35	2心の教育の推進	6	20.0
35	4個性を生かす特色ある教育の充実	6	20.0
35	6青少年を取り巻く環境の整備	6	20.0
35	11男女共同参画社会の実現	6	20.0
35	16健康づくりと疾病予防対策の推進	6	20.0
35	21人と環境にやさしい農業の展開	6	20.0
35	48安心できる消費生活の実現	6	20.0
35	49防災・危機管理対策の充実	6	20.0
43	36魅力ある“観光とちぎ”づくり	5	16.7
44	3健康な体づくりと学校安全教育の充実	4	13.3
44	40良好な地域環境の保全	4	13.3
46	18食品の安全と生活衛生の確保	3	10.0
46	45豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	3	10.0
48	10人権尊重の社会づくり	2	6.7
48	27安全で安定した水の供給	2	6.7
50	7生涯学習の推進	1	3.3

市町村長調査 現状評価(不満度:高い) 経年比較表

区分	順位	平成16年実施	回答数	不満高い		順位	平成21年度	回答数	不満高い
市	7	18医療サービス	6	50.0	→	1	17安心で良質な医療の確保	9	64.3
	23	36雇用の安定と職業能力の向上	3	25.0	→	1	26産業人材の育成と円滑な就労の促進	9	64.3
	7	32地域に密着した産業の育成	6	50.0	→	3	24地域に根ざした産業の振興	8	57.1
	7	56地球温暖化の防止	6	50.0	→	3	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	8	57.1
	52	28林業の活性化	1	8.3	→	5	22活力ある林業・木材産業の振興	7	50.0
	23	27食と農の理解促進	3	25.0	→	5	33いきいきとした農山村づくり	7	50.0
	18	10社会貢献活動	4	33.3	→	5	38社会貢献活動の促進	7	50.0
	1	54廃棄物対策	7	58.3	→	5	42廃棄物処理対策の推進	7	50.0
町村	13	18医療サービス	18	48.6	→	1	17安心で良質な医療の確保	11	68.8
	5	56地球温暖化の防止	23	62.2	→	1	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	11	68.8
	1	32地域に密着した産業の育成	26	70.3	→	3	24地域に根ざした産業の振興	10	62.5
	13	28林業の活性化	18	48.6	→	4	22活力ある林業・木材産業の振興	9	56.3
県北	1	54廃棄物対策	26	70.3	→	4	42廃棄物処理対策の推進	9	56.3
	2	18医療サービス	13	61.9	→	1	17安心で良質な医療の確保	7	70.0
	9	28林業の活性化	11	52.4	→	1	22活力ある林業・木材産業の振興	7	70.0
	22	36雇用の安定と職業能力の向上	8	38.1	→	1	26産業人材の育成と円滑な就労の促進	7	70.0
	2	46情報ネットワーク	13	61.9	→	4	39情報ネットワーク社会の推進	6	60.0
	36	14子育て環境	6	28.6	→	4	12安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	6	60.0
県央	5	32地域に密着した産業の育成	12	57.1	→	4	24地域に根ざした産業の振興	6	60.0
	21	18医療サービス	5	35.7	→	1	17安心で良質な医療の確保	7	77.8
	4	56地球温暖化の防止	9	64.3	→	2	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	6	66.7
	2	54廃棄物対策	11	78.6	→	2	42廃棄物処理対策の推進	6	66.7
	53	15高齢者の自立と生きがいづくり	1	7.1	→	4	13高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	5	55.6
	16	16障害者の自立と社会参加	6	42.9	→	4	14障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	5	55.6
	33	6青少年の健全育成	3	21.4	→	4	5自立した青少年の育成	5	55.6
	33	20保健・医療・福祉を支える人材の育成	3	21.4	→	4	15地域の保健・福祉を支える基盤づくり	5	55.6
	4	32地域に密着した産業の育成	9	64.3	→	4	24地域に根ざした産業の振興	5	55.6
	2	54廃棄物対策	11	78.6	→	4	413R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	5	55.6
県南	3	56地球温暖化の防止	10	71.4	→	1	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	8	72.7
	1	32地域に密着した産業の育成	11	78.6	→	2	24地域に根ざした産業の振興	7	63.6
	10	41快適で活力あるまちづくり	8	57.1	→	2	32活気あふれるまちづくり	7	63.6
	21	18医療サービス	6	42.9	→	4	17安心で良質な医療の確保	6	54.5
	41	39適切な土地利用	4	28.6	→	4	31個性の輝く地域づくり	6	54.5
	30	27食と農の理解促進	5	35.7	→	4	33いきいきとした農山村づくり	6	54.5
	50	43公園や水辺の整備	3	21.4	→	4	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	6	54.5
3	54廃棄物対策	10	71.4	→	4	42廃棄物処理対策の推進	6	54.5	

(4)今後の行政の取組のあり方（重要度）

全体の上位項目を見てみると、「17 安心で良質な医療の確保」（前回 31 位→今回 4 位）、「24 地域に根ざした産業の振興」（同 20 位→7 位）、「15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり」（同 35 位→8 位）、「19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立」（同 35 位→9 位）が前回に比べ大きく順位を上げている。

市・町村別や地域別に見ると、各区分とも 17、15、「1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実」などの医療や教育の伸びが見られる。特徴的なのは、県北で「33 いきいきとした農山村づくり」、「49 防災・危機管理対策の充実」、県南で「24 地域に根ざした産業の振興」が順位・割合ともに上がっていた。

市町村長調査 行政の取組の必要性（重要度：高い） 経年比較表

順位	平成16年実施	回答数	重要高い		順位	平成21年度	回答数	重要高い
6	1基礎学力の向上	43	87.8	→	1	1学ぶ力をはぐくむ教育の充実	29	96.7
3	14子育て環境	45	91.8	→	1	12安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	29	96.7
1	54廃棄物対策①	49	100.0	→	1	413R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	29	96.7
31	18医療サービス	35	71.4	→	4	17安心して良質な医療の確保	28	93.3
1	54廃棄物対策②	49	100.0	→	4	42廃棄物処理対策の推進	28	93.3
9	56地球温暖化の防止	41	83.7	→	4	43地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	28	93.3
20	32地域に密着した産業の育成	38	77.6	→	7	24地域に根ざした産業の振興	27	90.0
35	20保健・医療・福祉を支える人材の育成	34	69.4	→	8	15地域の保健・福祉を支える基盤づくり	26	86.7
4	2心の教育	44	89.8	→	9	2心の教育の推進	25	83.3
35	24農産物の安定供給	34	69.4	→	9	19多様なニーズに対応できる強い農業の確立	25	83.3
14	15高齢者の自立と生きがいづくり	39	79.6	→	11	13高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	24	80.0
14	30新事業の創出	39	79.6	→	11	23地域経済を牽引する産業の振興	24	80.0
31	33企業誘致	35	71.4	→	11	25成長性に富む企業の立地・定着促進	24	80.0
47	27食と農の理解促進②	31	63.3	→	11	33いきいきとした農山村づくり	24	80.0
6	5快適でゆとりある教育環境②	43	87.8	→	15	3健康な体づくりと学校安全教育の充実	23	76.7
56	39適切な土地利用	26	53.1	→	15	31個性の輝く地域づくり	23	76.7
4	48犯罪のない地域づくり	44	89.8	→	15	46安全で安心なまちづくりの推進	23	76.7
11	16障害者の自立と社会参加	40	81.6	→	18	14障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	22	73.3
9	44公共交通ネットワーク	41	83.7	→	18	29公共交通ネットワークの整備	22	73.3
14	41快適で活力あるまちづくり	39	79.6	→	18	32活気あふれるまちづくり	22	73.3
14	10社会貢献活動	39	79.6	→	18	38社会貢献活動の促進	22	73.3
48	51消費生活の安定	30	61.2	→	18	48安心できる消費生活の実現	22	73.3
35	25特色ある農産物の生産	34	69.4	→	23	20農業を支える基盤づくり	21	70.0
25	26安全・安心な農産物の生産と流通	37	75.5	→	23	21人と環境にやさしい農業の展開	21	70.0
31	42美しい景観づくり	35	71.4	→	23	34美しい景観とみどりづくり	21	70.0
35	34観光の振興	34	69.4	→	23	36魅力ある“観光とちぎ”づくり	21	70.0
25	46情報ネットワーク	37	75.5	→	23	39情報ネットワーク社会の推進	21	70.0
20	50交通安全の確保	38	77.6	→	23	47総合的な交通安全対策の推進	21	70.0
48	47災害対策①	30	61.2	→	23	49防災・危機管理対策の充実	21	70.0
20	6青少年の健全育成①	38	77.6	→	30	5自立した青少年の育成	20	66.7
35	17健康づくり	34	69.4	→	30	16健康づくりと疾病予防対策の推進	20	66.7
27	36雇用の安定と職業能力の向上	36	73.5	→	30	26産業人材の育成と円滑な就労の促進	20	66.7
20	6青少年の健全育成②	38	77.6	→	33	6青少年を取り巻く環境の整備	19	63.3
27	4個性を生かせる多様な学校教育	36	73.5	→	34	4個性を生かす特色ある教育の充実	18	60.0
55	9県民総スポーツ	27	55.1	→	34	9県民総スポーツの推進	18	60.0
41	40下水道の整備	33	67.3	→	34	28生活排水処理施設の整備・普及	18	60.0
53	28林業の活性化	28	57.1	→	37	22活力ある林業・木材産業の振興	17	56.7
48	47災害対策②	30	61.2	→	37	50防災基盤の整備	17	56.7
45	23男女共同参画社会づくり	32	65.3	→	39	11男女共同参画社会の実現	16	53.3
31	53環境汚染の防止	35	71.4	→	39	40良好な地域環境の保全	16	53.3
41	52食品の安全性確保	33	67.3	→	41	18食品の安全と生活衛生の確保	15	50.0
57	43公園や水辺の整備	24	49.0	→	41	35憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	15	50.0
27	45道路ネットワーク	36	73.5	→	43	30体系的な道路網の整備	14	46.7
48	29森林の整備	30	61.2	→	43	44環境を支える森林づくり	14	46.7
52	8県民文化	29	59.2	→	45	8県民文化の振興	13	43.3
35	13国際化への対応	34	69.4	→	45	37国際化の推進	13	43.3
59	22人権を尊重する社会づくり	23	46.9	→	47	10人権尊重の社会づくり	12	40.0
41	7生涯学習	33	67.3	→	48	7生涯学習の推進	11	36.7
60	38安全で安定した水の供給	14	28.6	→	48	27安全で安定した水の供給	11	36.7
20	55豊かな自然環境の保全	38	77.6	→	50	45豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	10	33.3

市町村長調査 行政の取組の必要性（重要度:高い） 経年比較表

区分	順位	平成16年実施		→	平成21年度		
		回答数	重要高い		回答数	重要高い	
市	9	14	75.0	→	1	100.0	
	8	18	66.7	→	1	100.0	
	7	1	58.3	→	3	92.9	
	8	30	66.7	→	3	92.9	
	7	32	58.3	→	3	92.9	
	11	54	91.7	→	3	92.9	
	11	54	91.7	→	3	92.9	
	9	56	75.0	→	3	92.9	
	町村	3	1	94.6	→	1	100.0
1		54	100.0	→	1	100.0	
3		14	94.6	→	3	93.8	
30		20	73.0	→	3	93.8	
1		54	100.0	→	3	93.8	
11		56	83.8	→	3	93.8	
県北	5	1	90.5	→	1	100.0	
	5	14	90.5	→	1	100.0	
	35	20	66.7	→	1	100.0	
	10	18	81.0	→	1	100.0	
	56	27	47.6	→	1	100.0	
	10	46	81.0	→	1	100.0	
	1	54	95.2	→	1	100.0	
	49	47	57.1	→	1	100.0	
	県央	33	1	64.3	→	1	100.0
		33	20	64.3	→	1	100.0
1		54	100.0	→	1	100.0	
11		2	78.6	→	4	88.9	
5		14	92.9	→	4	88.9	
11		15	78.6	→	4	88.9	
11		16	78.6	→	4	88.9	
46		18	57.1	→	4	88.9	
11		30	78.6	→	4	88.9	
7		32	85.7	→	4	88.9	
1		54	100.0	→	4	88.9	
11		56	78.6	→	4	88.9	
県南		8	14	85.7	→	1	100.0
		1	54	100.0	→	1	100.0
	8	56	85.7	→	1	100.0	
	1	1	100.0	→	4	90.9	
	37	18	64.3	→	4	90.9	
	28	32	71.4	→	4	90.9	
	1	54	100.0	→	4	90.9	
				→	4	90.9	

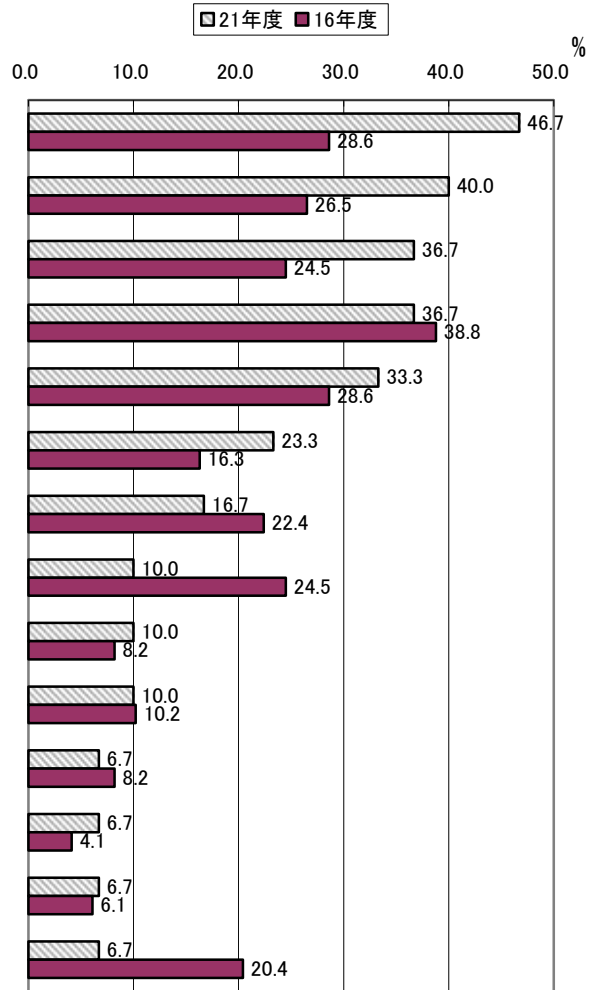
(5) 市町村の特色ある地域づくり

前回2位の「13 地域コミュニティ・人と人とのネットワーク」を選択した市町村の割合が大きく増加しており、地方分権や行財政改革が進む中、住民との協働による地域づくりを進めたいと考えている様子が伺える。次いで、4位の「3 質の高い観光交流資源」、5位の「2 水辺・里山等の身近で豊かな自然環境」も大きく増加し、それぞれ2、3位となったが、前回1位であった「9 地域特性を活かした豊かな農林水産業」は若干減少し、3位となった。

また、前回に比べ、項目間で選択率のばらつきが大きくなっており、特に「1 国立公園等の貴重な自然環境や温泉、森林等の天然資源」、「10 遺跡、史跡や郷土文化、民俗芸能等の歴史・文化資源」などが低下し、13、3、2など交流や自然といった新たな視点での地域づくりが重視されてきていることが推察できる。

※経年比較(全体)

13.地域コミュニティ・人と人とのネットワーク
3.質の高い観光交流資源
2.水辺・里山等の身近で豊かな自然環境
9.地域特性を活かした豊かな農林水産業
4.道路網の発達や東京圏等からのアクセス
7.製造業を中心とした工業や先端技術産業
1.国立公園等の貴重な自然環境や温泉、森林等の天然資源
10.遺跡、史跡や郷土文化、民俗芸能等の歴史・文化資源
12.創造性や気概のある人材
14.その他(上記の発想では括れない新たな資源など)
5.豊かな都市環境と高次都市機能の集積
6.活力ある商業・サービス業
8.伝統産業・地場産業
11.整備された文化・生涯学習・スポーツ施設や活発な活動



7 県の新しい総合計画に対する意見・要望について

概要についてまとめると、次のとおりである。

1 計画全般について

- ・ 県民が真に誇りと自信、夢が持てるような県の将来像と具体的な政策・施策を期待
- ・ 県、市町村、県民が協働して県土づくりができるようなシステムが必要
- ・ 地方分権、道州制を見通した県や市町のあり方について検討が必要
- ・ 都市部や合併市町に偏らない全域的なバランスを考慮した総合計画策定や支援を期待

2 施策に対する要望

■教育・文化

- ・ 青少年の育成（青少年教育施設整備の早期整備）
- ・ 体育館・文化センターの整備

■子育て

- ・ 子育て支援（地域ぐるみ）

■保健・医療・福祉

- ・ 少子高齢化対策
- ・ 保健・医療・福祉サービスの県内均衡化
- ・ 国民健康保険制度の充実
- ・ 医療体制の充実

■農林業

- ・ 農山村の活性化
- ・ 里山保全、樹木育成

■社会基盤整備

- ・ 道路整備
- ・ 地域公共交通のあり方検討
- ・ 特区、規制緩和による市町の取組支援
- ・ 美しい景観の保全、創造
- ・ 自然と調和したまちづくり
- ・ 住環境整備

■防災・安全・安心

- ・ 危機管理としての防災対策
- ・ 安全、安心に暮らせるまちづくり

■環境保全

- ・ 地球温暖化対策
- ・ 「環境立県とちぎ」の明確なビジョンと、県・市町の政策連携戦略

■その他

- ・ 住民自治、地方分権の確立
- ・ 権限・税源移譲、人員配置

なお、特定の施策・事業等についての要望は省略した。